



USER MANUAL



XNet Monitor

Version 1.6.11 | July 2023

Corporate
+32 4 361 7000

North & Latin America
+1 973 575 7811

Asia & Pacific
+852 2914 2501

Other regional offices
evs.com/contact/offices

→ evs.com

免責事項

本マニュアルは、オリジナルマニュアルXNetMonitor_userman_1.6.11.pdfの理解の補助用に作成されています。

本マニュアルの内容は、予告なく変更することがあります。

本マニュアルは、正確/最新/信頼できるように注意を払い作成しておりますが、株式会社フォトロンは本マニュアルの内容/品質については如何なる保証も行っておらず、間違い/エラーおよびそれらが原因となり発生した損失や損害については一切責任を負いません。

著作権

本マニュアルは、XNetMonitor_userman_1.6.11.pdfの日本語翻訳版です。

本マニュアルの著作権は、株式会社フォトロンに帰属します。

商標

すべての製品およびブランド名は、EVS、または、各所有者の商標または登録商標です。

改良要求

本マニュアルの内容に間違いがあれば、株式会社フォトロンまでご連絡下さい。

より良いマニュアル作成のために、ご協力をお願いします。

目次

目次	003
1. 新着情報	005
2. はじめに	007
2.1. 製品概要	007
2.2. インストール	008
2.3. アプリケーションへのアクセス	009
2.4. ユーザーインターフェース概要	010
2.5. メニューバー	012
3. 設定	013
3.1. ネットワーク設定	013
3.2. モニタリング設定	014
3.2.1. Monitored Device ツリーの説明	014
3.2.2. Monitored Deviceの組み合わせ	015
3.2.3. Monitoring リストのカスタマイズ	017
3.3. トラップ設定	018
3.3.1. Trap Configuration ウィンドウの説明	018
3.3.2. Monitored Deviceツリーの管理	020
3.4. SNMP と General Settings	021
4. モニタリング	023
4.1. モニタリングの開始	023
4.2. Monitoring リスト	024
4.2.1. Monitoring リストの説明	024
4.2.2. Monitoring リスト内のフィールド	025
4.3. Server Details	026
4.3.1. Server Details エリアの概要	026
4.3.2. Status タブ	027
4.3.3. Storage タブ	034
4.3.4. Hardware タブ	037
4.3.5. Codes タブ	038
4.3.6. MIB Browser タブ	039
4.3.7. Temperature タブ	040
4.3.8. Live IP タブ	041
4.4. Device Details	043
4.5. SNMP 情報の抽出	045
4.6. SNMP 情報の更新	046
4.7. Alert メッセージ	047
4.7.1. Alerts 枠の説明	047
4.7.2. Alerts の管理	049
4.7.3. 可能なアラートのリスト	050
4.8. Disk Usage	064

5. Server Maintenance タスク	065
5.1. Multicam Upgrades	065
5.1.1. Installing a Multicam Version	065
5.1.2. Removing a Multicam Version	067
5.2. EVS サーバーへのリモートアクセス	069
5.2.1. サーバーデスクトップへのリモートアクセス	069
5.2.2. Multicam Web Setupへのアクセス	070
5.2.3. LSM リモコンへのリモート アクセス	071
5.2.4. EVS サーバーのリポート	072
5.3. EVS サーバーへのキーワードファイルのアップロード	073
5.4. サーバー Logs Extraction	074

アイコン



1. 新着情報

バージョン 1.6.11 の新機能および更新された機能にリンクされている変更はありません。

2. はじめに

2.1. 製品概要

XNet Monitorは、EVS製品の監視を目的としたツールです。

EVSビデオサーバーおよびその他のEVS製品に関するリアルタイムの情報とステータス、および過去のアラートメッセージと警告メッセージが表示されます。

XNet Monitorは、SNMP (Simple Network Management Protocol) プロトコルを使用して、EVSサーバーとの間で監視データを要求および受信します。

この内部ステータスデータは、各EVSサーバーのMIB (管理情報ベース) で定義されます。

1つのXNet Monitorアプリケーションで複数のEVSサーバーおよびその他のEVS製品を監視でき、逆に、1台のEVSサーバーまたは製品を複数のXNet Monitorアプリケーションで監視することもできます。

XNet Monitorは主に、監視対象サーバーで動作できない監視アプリケーションです。

ただし、Multicamバージョンのアップグレード、キーワードファイルのメンテナンス、EVSサーバーデスクトップまたはLSMリモートパネルへのリモートアクセスなど、いくつかのリモートアクションが可能です。



XNet Monitorで監視できるEVS製品の完全なリストは、リリースノートに記載されています。
現在サポートされている全てのEVSサーバーは、XNet Monitorで監視できます。

2.2. インストール

要件

- PC互換機
- サポートされているOS: Windows Server 2008 R2、Windows 7、Windows10
- .Net Framework 4. 6以降がインストールされている

推奨

SNMP情報は、サーバーの PC LAN コネクタを介して入手できます。

XNet Monitorを実行しているコンピューターは、サーバーの Gigabit Ethernet ポートではなく、同じネットワークに接続する必要があります。

これらのポートは、高流量ビデオデータ専用であり、他の目的に使用することはできません。

アップグレードとダウングレード

古いバージョンのXNet Monitorが既にコンピューターにインストールされている場合は、新しいバージョンのXNet Monitor をインストールすると、自動的に削除され、新しいバージョンに置き換えられます。

XNet Monitorアプリケーションは、アプリケーションをダウングレードする必要がある場合にのみ削除する必要があります。

アプリケーションの削除は、通常どおり、Windowsのコントロールパネルと[プログラムの追加と削除]メニューから実行できます。

2.3. アプリケーションへのアクセス

XNet Monitorを開く方法

XNet Monitor アプリケーションを開くには、以下の動作のいずれかを行います：

- デスクトップ上の XNet Monitor アイコン  をダブルクリックします
- Windows アイコンをクリックして、EVS Broadcast Equipment -> XNet Monitor.を選択します

2.4. ユーザーインターフェース概要

序文

XNet Monitorにアクセスすると、メインウィンドウが表示されます。
以下のスキーマは、メインウィンドウのさまざまなエリア領域を強調しています。

The screenshot shows the XNet Monitor application window. The interface is divided into several sections:

- 1:** Left sidebar navigation tree showing a hierarchy of devices (XNet, Doc, Test, Labo).
- 2:** Top menu bar with options: File, Tools, Monitoring, Help.
- 3:** Main data table with columns: Name, SN, Soft. Rev., State, Genlock, Analog LTC, Disk, PSU, XNET Status, Traffic, DB Status, Loc. Clips, Rem. Capacity, Temp. Hoc, Temp. Hoc.
- 4:** Alert list table with columns: Name, IP Address, Date, Alert Message.
- 5:** Capacity gauge showing Used Capacity (15:22:43) and Rem. Capacity (230:24:55).
- 6:** Bottom status bar showing "Waiting 234/300 sec".

Name	SN	Soft. Rev.	State	Genlock	Analog LTC	Disk	PSU	XNET Status	Traffic	DB Status	Loc. Clips	Rem. Capacity	Temp. Hoc	Temp. Hoc
Test	148	16.01.14	Stagnant	Valid blackburst	Valid			Unknown	Unknown	Unknown	0	00:00:00	0	0
	305	16.00.41	Running	Valid blackburst	Valid			Unknown	Unknown	Unknown	0	00:00:00	0	0
	302	16.01.14	Stagnant	Valid blackburst	Valid			Unknown	Unknown	Unknown	0	00:00:00	0	0
	161	16.01.14	Running	Valid blackburst	Valid	OK (0 sp)		Unknown	Unknown	Unknown	20	28:40:00 (99%)	36	53
	281	15.03.47	Stagnant	Valid blackburst	Valid	OK (0 sp)		Unknown	Unknown	Unknown	15	41:26:05 (99%)	0	0
	161	15.03.48	Stagnant	Valid blackburst	Valid			Unknown	Unknown	Unknown	0	00:00:00	0	0
	304	16.00.41	Running	Valid blackburst	Valid	OK (0 sp)	OK	Stand-alone	Normal	Ok	17	05:39:11 (61%)	0	0
	304	16.01.13	Stagnant	Unknown blackb...	Unknown	OK (0 sp)		Unknown	Unknown	Unknown	54	154:39:39 (92%)	0	0

Name	IP Address	Date	Alert Message
LWY-XT-Via-304840	10.129.110.62	07-11-18 10:59:31	CAM A: Video Missing
LWY-XT-Via-304840	10.129.110.62	07-11-18 10:59:31	IPDP on RS 422 #4 Disconnected
LWY-XT-Via-304840	10.129.110.62	07-11-18 10:59:31	Gbe Port2: operational status is Down
CDO-XT04-SN161070	10.129.110.104	07-11-18 10:59:30	Status: not running

エリア説明

以下の表は、XNet Monitor メインウィンドウの各パートについて、説明しています：

#	ウィンドウエリア	説明
1	メニューバー	さまざまな機能にアクセスできます。
2	Monitored Device. (モニターされるデバイス) ツリー	モニタリング対象のデバイスをユーザー定義のツリーアーキテクチャで表示します。
3	Monitoring Data (モニタリングデータ) エリア	<p>Monitored Deviceツリーで選択されている内容に応じて、異なるデータが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 選択したEVSサーバーの詳細情報: このエリアは、Server Details (サーバー詳細) エリアと呼ばれます。 ● 別のEVSハードウェアが選択された場合の詳細情報: このエリアは、Device Details (デバイス詳細) エリアと呼ばれます。 ● デバイスのグループが選択された場合の複数のデバイスに関する要約情報: このエリアは、Monitoring List (モニタリングリスト) エリアと呼ばれます。
4	Alert Information (警告情報) エリア	これにより、ユーザーはアラートを表示して確認することができます。
5	Disk Usage (ディスク使用状況)	選択したデバイスの合計使用済みディスク容量と残りのディスク容量を示す円グラフが表示されます。
6	ステータスバー	モニタリングステータスに関する情報を提供します。

2.5. メニューバー

一般説明

メニューバーから、さまざまな機能にアクセスできます。
メニュー項目の簡単な説明を以下に示します。

エリア説明

以下の表に、メニューバーの項目を示します：

メニュー	説明
File メニュー	Monitored Device ツリーに保存されているEVSサーバーおよびその他のEVSデバイスを管理できます。
Tools メニュー	これらの章で説明されているコンフィグツールと設定へのアクセスを提供します。 EVSサーバー上のMulticamバージョンとキーワードファイルを管理するためのコマンドへのアクセスを提供します。
Monitoring メニュー	Monitored Device ツリーに表示されているEVSサーバーおよびデバイスで、モニタリングを開始または停止できます。
Help メニュー	ユーザーマニュアルとアプリケーションに関する情報へのアクセスを提供します。

3. 設定

3.1. ネットワーク設定

序文

ネットワークで XNet Monitor をセットアップする際に問題が発生した場合、およびネットワーク設定が必要な場合には、この章に必要なネットワーク情報があります。

説明

モニタリング

- モニタリングプロトコル: SNMP
- コミュニケーション、ポーリング用: TCP、ポート 161 上(双方向)
- コミュニケーション、SNMPトラップ: UDP、ポート 162 上 (サーバーからの出力のみ)

リモートデスクトップと LSM Remote機能

- TCP 50000 (双方向)

Web.コンフィグ

- コミュニケーション、HTTP、ポート 80 上(双方向)

3.2. モニタリング設定

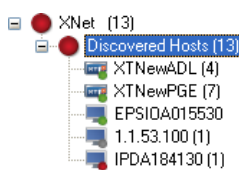
3.2.1. Monitored Device ツリーの説明

序文

Monitoring Devices ツリーは、ネットワーク上でモニタリングされているデバイスを表示します。

以下のスクリーンショットに示すように、これらはネットワークアーキテクチャとは独立したツリーアーキテクチャでリスト表示されています。

モニタリングリストは、ユーザーが定義します。



XNet Node

上位ノードは、EVS XNet独自のネットワークを表すため、**XNet** と呼ばれます。

この第1レベルのノードの下に、1つ以上のグループを追加する必要があります。

これらのグループは、複数のサーバーを簡単に編成および管理するために使用される仮想グループのみです。

Groups

グループはユーザーが定義します。

グループ定義はネットワークアーキテクチャに関連付けられていません：これは、ユーザーが自由に編成できる仮想レイアウトにすぎません。

管理を容易にするために、デバイスの物理的なローカリゼーションに基づいてグループを編成することをお勧めします。

Hosts

ホストは、モニタリング対象のデバイスそのものです。

手動または自動で作成できます。

Status Summary

Monitored Deviceツリーで、グループまたはデバイスの横に表示される色付きの箇条書きは、デバイスステータスの概要を示し、次の意味を持ちます：

- 赤い箇条書き： ホストに警告やエラーがあることを意味します。
- 緑色の箇条書き： そのアイテムにすべて問題がないことを意味します。

項目の横の括弧内の数字は、保留中のSNMPアラートメッセージの数を示します。

3.2.2. Monitored Deviceの組み合わせ

序文

Monitoringリストでモニタリング対象デバイスを整理するには、最初に XNet ノードの下にグループを作成する必要があります。

次に、手動または自動で、作成したグループの下にモニタリング対象デバイスを追加できます。

グループの追加と削除方法

管理を容易にするために、サーバーの物理的な位置に基づいてグループを編成することをお勧めします。新しいグループを追加するには、次の手順に従います：

1.XNetノードを右クリックして、**Add group** を選択します。

2.代表的なグループ名を入力します。

グループを削除するには、グループを右クリックして、**Remove** を選択します。

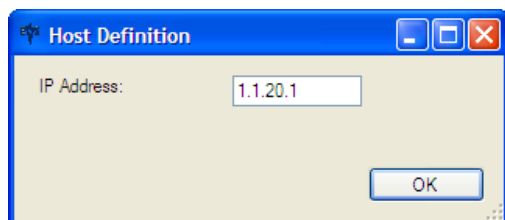
デバイスの手動追加方法

個々のデバイスを手動で追加するには、次の手順に従います：

1.グループを右クリックして、**Add host**を選択します。

2.Host Definition ウィンドウにデバイスのIPアドレスを入力します。

DNSサーバーまたはホストファイルで宣言されている場合は、ホスト名を入力することもできます。

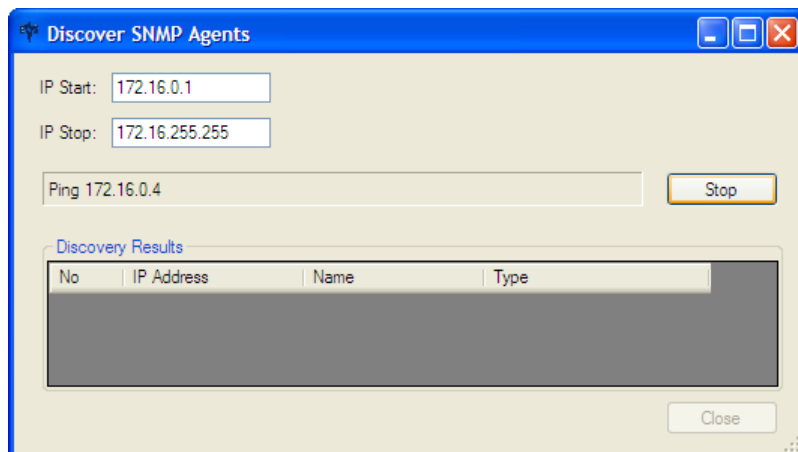


デバイスを手動でリストに入力すると、ドラッグアンドドロップ操作によってデバイスをさまざまなグループに整理できます。

デバイスの自動追加方法

1. **Tools** メニューを開き、**Discover** を選択します。

Discover SNMP Agents ウィンドウが開きます。



2.このウィンドウで、プログラムが使用可能なデバイスを検索する IP アドレス範囲を設定します。

3. **Start** ボタンをクリックして、検出プロセスを開始します。

このプロセスの最後に、検出されたデバイスは、**Discovered Hosts** と呼ばれる新しいグループにリストされます。

検出プロセスを通じてデバイスが入力されると、ドラッグアンドドロップ操作によってデバイスをさまざまなグループに整理できます。



このプロセスは未使用のアドレスのタイムアウトに基づいているため、長いリストの解析には時間がかかる場合があります。

デバイスを削除する方法

モニタリングが開始されていない場合にのみ、デバイスを削除できます。

ホストを削除するには、ホストを右クリックして、**Remove** コマンドを選択します。

3.2.3. Monitoring リストのカスタマイズ

序文

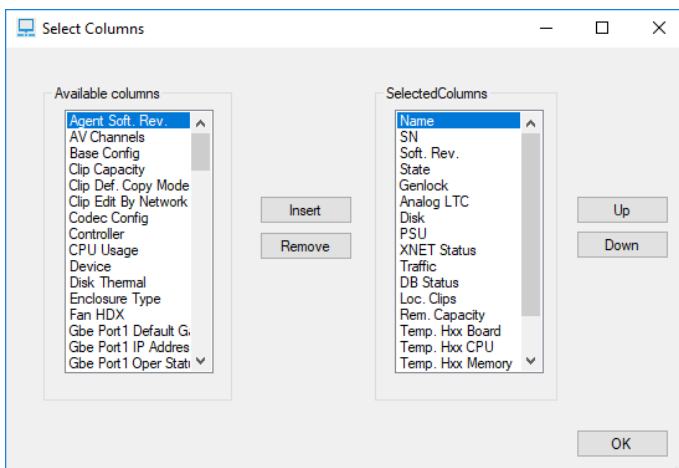
Monitored Deviceツリーで XNetまたはグループを選択すると、Monitoring Data 枠に **Monitoring** リストが表示され、このリストには、XNet または選択したグループで使用可能なサーバーに関する概要データが表示されます。

Select Columns ウィンドウで、Monitoring リストに表示する情報とその表示方法を指定できます。

データをカスタマイズする方法

サマリーモニタリングデータをカスタマイズするには、次の手順に従います：

1. Monitoring Data枠で、**Tools** メニューから、**Organize Columns** コマンドを選択します。
2. **Select Columns** ウィンドウが開きます。



3. 次のいずれかの動作を実行します：

- 表示に列を追加するには、左側の **Available columns** リストで列を選択し、**Insert** ボタンをクリックします。
- 表示から列を削除するには、右側の **Selected Columns** リストで列を選択し、**Remove** ボタンをクリックします。
- 列の順序を変更するには、右側の **Selected Columns** リストで列名を選択し、**Up** ボタンと **Down** ボタンをそれぞれ使用してリスト内で列名を上下に移動します。

4. 列が必要に応じて整理されたら、**OK** をクリックします。

3.3. トラップ設定

3.3.1. Trap Configuration ウィンドウの説明

概要

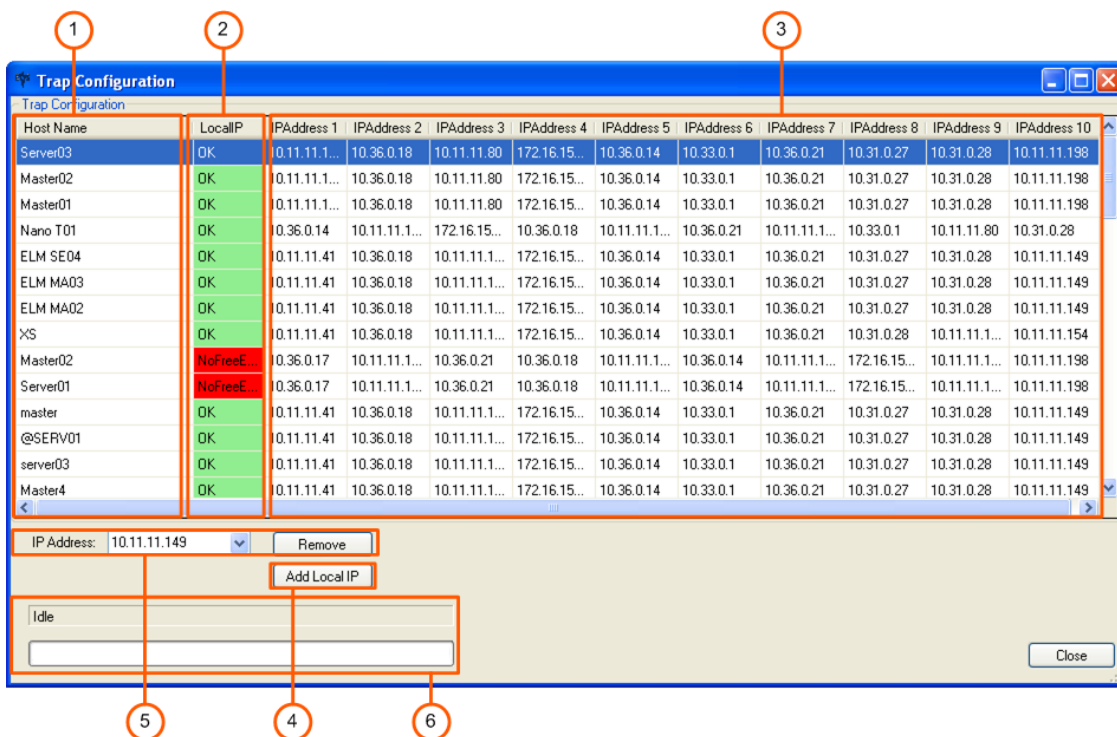
Tools メニューと Trap Configuration コマンドを選択すると、Trap Configuration ウィンドウにアクセスできます。

Trap Configuration ウィンドウに、ホストツリー(EVSサーバーまたはその他のEVSハードウェア)が表示されます。ホストごとに、SNMP トラップメッセージを受信するために、ホストに登録されているコンピューターのIPアドレスのリスト。

このようなコンピューターは、トラップターゲットと呼ばれます。

トラップターゲットは、XNet MonitorアプリケーションまたはXNet Monitorのポーリングサービスをホストするコンピューターです。

Trap Configuration ウィンドウには、以下のスクリーンショットで強調表示されているエリアまたはボタンが含まれています：



エリア説明

次の表に、Trap Configuration ウィンドウのさまざまな部分を示します：

パート	名前	説明
1	Host ツリー	XNet Monitor アプリケーションを登録できるモニタリング対象デバイスのリスト
2	Local IP カラム	ローカル IP アドレスのトラップステータス： ●IP アドレスがトラップメッセージを受信するように登録されている場合、セルは次のように表示されます。  ●IP アドレスがトラップメッセージを受信するように登録されていない場合、セルは次のように表示されます。 
3	IP Addresses カラム	対応するホストへのトラップターゲットとして登録されているコンピューターの全ての IP アドレスのリスト (ホストごとに最大 10 個)。
4	Add Local IP ボタン	管理者が、モニタリング対象サーバーに現在の XNet Monitor IP アドレスを追加できるようにするボタン。
5	Remove ボタン	管理者が、登録されている全てのホストからトラップ ターゲットを一度に削除できるボタン。 このボタンは左側のドロップダウン リストと組み合わせて使用し、削除するトラップターゲットを選択できます。
6	Trap Registration ステータスバー	ウィンドウの下部にあるステータスフィールドとプログレスバーには、現在実行中のコマンドとその進行状況が表示されます。

3.3.2. Monitored Deviceツリーの管理

File メニューからコマンドを使用すると、**Monitored Device ツリー**で利用できるデバイスとサーバーのリストを管理できます。

このリストは、後で使用したり、別のモニタリングコンピューターに転送したりするために、.xml ファイルとして保存されます。

これにより、サーバーとホストツリー編成の共有と同期の管理のが容易になります。

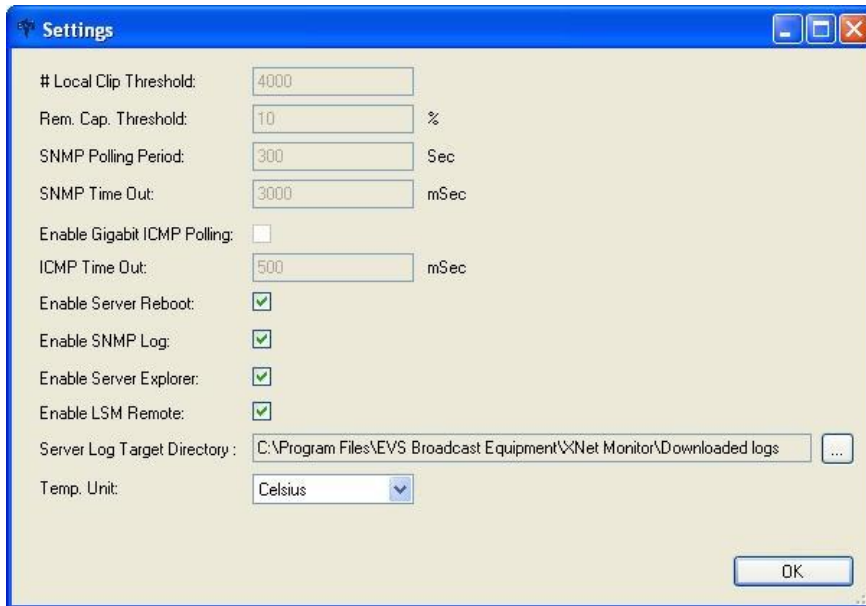
次のコマンドは、**File** メニューで使用できます。

パラメータ	説明
New	新しい仮想アーキテクチャをゼロから作成します。
Open	xml ファイルとして保存された既存のアーキテクチャを開きます。
Save	現在開いているアーキテクチャ xml ファイルを保存します。
Save As	現在開いているアーキテクチャ xml ファイルを新しいファイルとして保存します。
Exit	XNet Monitor を閉じて終了します。

3.4. SNMP と General Settings

序文

Tools メニューの **Settings** コマンドでは、次のパラメータを設定できます。
パラメータがアプリケーションに対して適切に設定されたら、OK をクリックします。



フィールド説明

パラメータ	説明
# Local Clip Threshold	マシンでクリップがこの数に達すると、そのサーバーでクリーニングとページがまもなく必要になることをユーザーに警告するメッセージが表示されます。
Rem. Cap. Threshold	前の警告と同じですが、サーバーの残りのストレージ容量に基づいています。
SNMP Polling Period	ポーリング間の待機時間。 短い期間はデータの高速更新が保証されますが、ネットワーク上で大量のデータ フローが要求され、長い期間では最新のデータが表示されなくなりますが、ネットワークの負荷が軽減されます。
SNMP Time Out	ホストが応答していないと見なされるまでの遅延。 モニタリング対象のホストでそのようなイベントが発生した場合、アラート メッセージがイベント ログに表示されます。 自動検出プロセスの合計所要時間は、このパラメータによって異なります。
Enable Gigabit ICMP Polling	サーバー GbE ポートの ping を有効にします。
ICMP Time Out	サーバー GbE ポートの ping のタイムアウト。
Enable Server Reboot	このオプションが有効になっている場合、XNet Monitor は、Monitored Device ツリーでホストを右クリックして開くコンテキストメニューの Reboot コマンドを使用して、モニタリング対象サーバーの再起動を開始できます。
Enable SNMP Log	このオプションを有効にすると、XNet Monitor は全ての SNMP メッセージを含むログファイルを保持します。
Enable Server Explorer	Monitored Devices ツリーの Server Name コンテキストメニューから Explore オプションを有効にします。 Explore オプションは、サーバー上で ftp セッションを開きます。
Enable LSM Remote	Monitored Device ツリーの Server Name コンテキストメニューから、 LSM Remote オプションを有効にします。
Server Log Target Directory	SNMP ログファイルの保存に使用されるディレクトリへのパス。
Temp. Unit	温度を表す単位。

4. モニタリング

4.1. モニタリングの開始

サーバーとホストがグループに追加されると、Monitoring メニューの **Start** コマンドをクリックしてモニタリングを開始します。

実行中のモニタリングを停止するには、同じ Monitoring メニューの **Stop** コマンドをクリックするだけです。

モニタリングステータスは、XNet Monitor ウィンドウの下部にあるステータスバーで確認できます。



- Polling not started: アプリケーションの起動以降、モニタリングがまだ開始されていないことを意味します。
- Polling 続く IP アドレス: ステータスデータが選択したホスト MIB から現在読み取られていることを意味します。
- Waiting x/y sec: モニターが次のポーリング プロセスを待機していることを示します。合計 y 秒のうち x 秒待機しています (関連するパラメータ設定による)。
- Polling ended: モニタリングがユーザーによって停止されたことを意味します。モニタリングの再開時に、ホストはすぐにポーリングされ、待機期間はリセットされます。



XNet Monitor を起動すると、モニタリングは常に停止しているため、Start コマンドを使用して手動で開始する必要があります。

4.2. Monitoring リスト

4.2.1. Monitoring リストの説明

概要

Monitoring リストエリアには、EVS サーバーとその他の EVS ハードウェアのグループ、それらのステータス、および各ハードウェアの一連のパラメータが表示されます。

Monitoring リスト枠には、下のスクリーンショットで強調表示されているエリアが含まれています：

Name	SN	Soft. Rev.	State	Genlock	Analog LTC	Disk	PSU	XNET Status	Traffic	DB Status	Loc. Clips	Rem. Capacity
Doc												
EVSServerADL	24940	15.02.16	Running	Valid blackburst	Valid	OK (0 sp)	OK	Connected	Normal	Ok	51	15:43:47 [98%]
XT3-PGE	25120	15.02.16	Running	Valid blackburst	Valid	OK (1 sp)	OK	Connected	Normal	Ok	54	21:15:45 [98%]
Test												
FDR-XT01-SN148...	148...	15.01.37	Running	Valid blackburst	Valid	OK (0 sp)	OK	Stand-alone	NotApp...	Ok	57	22:29:21 [98%]
FDR-XT02-SN117...	117...	15.02.28	In Maintenance	Valid blackburst	Valid	OK (0 sp)	Unknown	Unknown	Unknown	Unknown	78	19:43:59 [96%]

エリア説明

次の表では、Monitoring リストエリアのさまざまな部分について説明します：

パート	名前	説明
1	Column heading	特定の列で利用可能な情報のタイプ。 Monitoring リストで使用可能な列が選択され、定義どおりに並べ替えられます。
2	Group node	Monitored Device ツリーで定義されているデバイスまたはサーバーグループの名前。
3	Server List	グループに属する EVS サーバーおよびその他の EVS ハードウェアに関する情報。 EVS サーバーまたはその他のハードウェアに対応する行をクリックすると、このホストの詳細情報が Server Details エリアに表示されます。

4.2.2. Monitoring リスト内のフィールド

以下の表で説明されているフィールドのリストはすべてを網羅しているわけではありません。
デフォルト表示で使用可能なフィールドが含まれています：

名前	説明
Name	<p>EVS サーバーの名前</p> <p>表示される名前は、値が割り当てられているかどうかに基づいて、次の優先順位で割り当てられます： facility name、net name、IP アドレス</p> <p>EVS サーバーの前にあるカラーサークルは、そのステータスを示します：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緑： サーバーにアクティブなアラートはありません。 ● 赤： 特定のサーバーに対して少なくとも 1 つのアクティブなアラートが存在します。 ● 灰色： XNet Web は SNMP プロトコルで情報を取得できません。
SN	サーバー固有のシリアル番号
Soft Rev.	サーバー ソフトウェアのリビジョン
State	EVS サーバーまたはその他の EVS ハードウェアの機能ステータス
Genlock	genlock 同期信号の有無とその種類
Analog LTC	LTC (Longitudinal Time Code) アナログ信号のステータス
Disk	ディスクの接続状態、およびスペアディスクの数
PSU	電源ユニットのステータス
XNet Status	XNet ネットワーク接続のステータス
Traffic	ネットワーク トラフィックのステータス
DB Status	サーバー データベースのステータス
Loc. Clips	サーバーに保存されているクリップの数
Rem. Capacity	EVS サーバーの残りの収録容量 (時間単位) とパーセンテージ

4.3. Server Details

4.3.1. Server Details エリアの概要

Server Details エリアは、Monitored Device リストの右側にあります。

Monitored Device リストで EVS サーバーを選択すると、選択したサーバーの詳細情報が **Server Details** エリアに表示されます。

タブ名	含まれるフィールドグループ
Status	一般情報、A/V、ネットワーク、コントローラー、GbE 接続、チャンネルに関するデータ
Storage	ディスク容量、アレイ定義、ディスク番号、およびディスク モデルに関する情報
Hardware	EVS サーバーに搭載されているボードのリスト
Codes	EVS サーバーにインストールされているコードのリスト
MIB Browser	MIB (Management Information Base) の表示
Temperature	EVS サーバーのさまざまなポイントで測定された温度
Live IP	PTP 信号と SFP ポートのモニタリング

Monitored Device リストで別の EVS ハードウェアを選択すると、Device Details エリアに、選択したハードウェア、そのドライブ、および通信インターフェースに関するデータが表示されます。

4.3.2. Status タブ

概要

Status タブでは、次の図に示すように、主なパラメータが複数のグループ ボックスに編成されています。

Status Storage Hardware Codes Mib Browser Temperature Live IP

General		Audio-Video		Controller \ Protocol	
Type:	XT4K	AV Channels:	2in 2out 16audio	Port	Controller\Protocol
Facility Name:	FDR-XT04-SN161050	Video Std:	UHDTV-4K 59.94Hz	RS422 #1	EVSRemote
Base Config:	MulticamLSM	Codec Config:	Intra+Lo-Res	RS422 #2	EVSRemote
Serial Number:	161050	On Air Codec:	XAVC 300	RS422 #5	IPDP
Version:	16.01.14	Intra Codec:	XAVC 300	Ethernet #50106	LinX
State:	In Maintenance	Intra Bit Rate:	600 Mbps	Ethernet #50107	LinX
PSU:	Unknown	LongGOP Codec:	Not applicable		
Genlock:	Valid blackburst	LongGOP Bit Rate:	Not applicable		
LTC:	Valid	Lo-Res Codec:	Mpeg		
Local Clips:	20	Lo-Res Bit Rate:	5000 Mbps		
Net Clips:	0	Interface:	3G Level-A		
Rem. Capacity:	28:40:00 [99%]	HDR:	HLG - Rec2020		
Clip Capacity:	Global				
Loop Recording:	On				
Up Time:	0 day, 17:49:29				
Date Time:	2018-11-07 09:00:06				
Sync PC to TC:	Yes				
Period:	00:15:00				
PC free disk space:	216496 MB				
DB Status:	Unknown				
Rec Train Expiration:	Unknown				

Network Connection Settings				
Status	LAN PC1	Gbe Port1	Gbe Port2	XNet
IP Address	10.129.110.4	10.129.112.4	10.129.113.4	0.0.0.0
Subnet Mask	255.255.254.0	255.255.255.0	255.255.255.0	0.0.0.0
Def. Gateway	10.129.111.254	10.129.112.254	10.129.113.254	0.0.0.0
MAC Address	00031D1021C7	001CF3012C81	001CF3012C80	001CF305C2DE
Phys. Interface	Not Applicable	1Gbe on TGE	1Gbe on TGE	10Gbe on TGE
Mode	Static	Static	Static	-

Channels									
Channel	Status	Config	Rem.Capacity	LTC	User TC	1st Ctrl	2nd Ctrl	Parallel Ctrl	OSD
CAM A	Unknown	Rec 3G Level-A (50%)	14:20:00	2018-11-06 17:49:45:...	2018-11-07 00:08:49:...	EVSRemote		Primary	
CAM B	Unknown	Rec 3G Level-A (50%)	14:20:00	2018-11-06 17:49:45:...	2018-11-07 00:08:49:...	EVSRemote		Primary	
PGM 1	Unknown	Play 3G Level-A		2018-11-06 17:49:45:...	2018-11-07 00:08:49:...	EVSRemote	IPDP	Parallel	Main
PGM 2	Unknown	Play 3G Level-A		2018-11-06 17:49:45:...	2018-11-07 00:08:49:...	EVSRemote	IPDP	Parallel	Main

さまざまなグループ ボックスとそのパラメータについては、後で詳しく説明します。

関連する EVS サーバーの Configuration マニュアルに、これらのパラメータの多くの詳細が記載されています。



Multicam がアクティブではなく、選択したサーバーで実行されている場合、ほとんどのパラメーター フィールドは空白のままになります。

一般エリア

次の表は、General エリアで使用できるフィールドを示しています：

パラメータ	説明
Type	サーバーの種類： XT3、XS3、…
Facility Name	ユーザーが製品に付けた名前
Base Config	サーバーの起動に使用されるベースコンフィグ。 Dual LSM コンフィグの場合、アクティブなベースコンフィグの横に Dual という用語が追加されます。
Serial Number	サーバー固有のシリアル番号
Version	サーバー ソフトウェアのバージョン
State	EVS サーバーまたはその他の EVS ハードウェアの機能ステータス
PSU	電源ユニットのステータス
Genlock	genlock 同期信号の有無とその種類
LTC	LTC (Longitudinal Time Code) アナログ信号のステータス
Local Clips	サーバーに保存されているクリップの数
Net Clips	XNet ネットワーク全体に保存されているクリップの総数
Rem. Capacity	EVS サーバーの残りの収録容量 (時間単位) とパーセンテージ
Clip Capacity	サーバーで定義されているクリップ容量： Global または Per Channel。
Loop Recording	サーバーで定義されている Loop recording モード。
Up Time	最後の起動からの経過時間。
Date Time	MTPC の日付と時刻。
Sync PC to TC	内部 TC がサーバーの LTC 入力で読み取られたタイムコードに同期されているかどうか、およびシステムの LTC 入力で検出された TC の不連続がクリアされているかどうかを示します。
Period	Sync PC to TC が適用される期間。
PC Free Disk Space	MTPC ディスクの空き容量 (メガバイト (MB) またはギガバイト (GB) 単位)。
DB Status	サーバー データベースのステータス
Rec. Train Xpiration	EVS サーバーでレコードトレインのフィールドカウンターを手動で再初期化する必要がある時間の経過。 再初期化に失敗すると、レコードトレインは記録されなくなります。 Multicam で警告メッセージが発行されます。

Audio-Video エリア

次の表は、Audio-Video エリアで使用できるフィールドを示しています：

パラメータ	説明
AV Channels	ビデオおよびオーディオ チャンネル用に定義されたコンフィグ： ●IN および OUT ビデオ チャンネルの数。 ●ビデオ チャンネルあたりのオーディオ エンベデッド モノラル チャンネルの数。
Video Std	サーバー ポートで使用されるビデオ規格
Codec Config	EVS サーバーでアクティブなコーデック エッセンス
On Air Codec	EVS サーバーでビデオが再生されるコーデック
Intra Codec	ビデオが EVS サーバーに保存されるイントラ コーデック
Intra Bitrate	Intra コーデックの圧縮ビデオ データのビットレート
LongGOP Codec	ビデオが EVS サーバーに保存される LongGOP コーデック
LongGOP Bitrate	LongGOP コーデックの圧縮ビデオ データのビットレート
Lo-Res Codec	ビデオが EVS サーバーに保存される Lo-Res コーデック
Lo-Res Bitrate	Lo-Res コーデックの圧縮ビデオ データのビットレート
Interface	EVS サーバーが 3D、1080p、UHD-4K 解像度、または XIP または XT-VIA リア パネルで使用する接続インターフェイス。 XHub-VIA の存在は、XIP - XHub によって示されます。
HDR	High Dynamic Profile に使用される OETF 機能 (Opto-Electric Transfer Function)。

Network エリア

次の表は、Network エリアで使用できるフィールドを示しています：

パラメータ	説明
XNet	XNet ネットワーク速度： <ul style="list-style-type: none"> ● 3G-SDTI ● XNet-VIA ● Off
Net # - Name	XNet ネットワーク上のサーバー識別番号と名前。
Net Type (Cfg)	XNet ネットワーク上の EVS サーバーの特権を定義します。 可能な値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> ● Local ● XNet EVSサーバーがXNet server.になるかどうかを定義します。 可能な値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> ● Preferred ● Allowed ● Forbidden
Clip Edit by network	クリップをネットワーク経由で編集できるかどうかを指定します。
XNet Status	XNet ネットワーク接続のステータス。
Traffic	ネットワーク トラフィックの状態。
Network Copy/Push	クリップのコピー、移動、およびプッシュ動作の優先ネットワーク (XNet または Gigabit)。
GigE Open Conn	特定のポートで開いている GbE 接続の数。

Controller / Protocol エリア

次の表は、Controller / Protocol エリアで使用できるフィールドを示しています：

パラメータ	説明
Port	サーバーコントローラーが使用するポート
Controller\Protocol	そのポートで使用されるコントローラーまたはプロトコル。
Connection State	制御ポートの接続状態。 切断されている場合は、 Disconnected が赤で表示され、アラートが生成されます。

Network Connection Settings エリア

次の表は、EVS サーバーで使用されている、各 PC LAN (最大 2)、各 GbE ポート (最大 2)、および各 Net-VIA インターフェース (最大 1) の Network Connection Settings エリアで使用可能なフィールドを示しています。

チーミングが GbE ポートに適用されている場合、GbE 2 ポートは“Not Present”と呼ばれます：

Dual PC LAN モードでのみ、2 つの PC LAN カラムが表示されます。

	LAN PC1	LAN PC2	Gbe Port1	Gbe Port2
Status	Up	Up	Down	Up
IP Address	10.129.150.18	10.129.121.41	10.129.112.43	10.129.113.43
Subnet Mask	255.255.255.0	255.255.255.0	255.255.255.0	255.255.255.0
Def. Gateway	10.129.150.254	10.129.121.254	10.129.112.254	10.129.113.254
MAC Address	8E2510202CB8	8E2510202CB9	001CF3014B81	001CF3014B80
Phys. Interface	Not Applicable	Not Applicable	1Gbe on TGE	1Gbe on TGE
Mode	Static	Static	Static	Static

パラメータ	説明
Status	接続のステータス。
IP Address	インターフェース ポートの IP アドレス。
Subnet Mask	インターフェース ポートの IP マスク。
Def. Gateway	インターフェース ポートが使用するデフォルト ゲートウェイ。
MAC Address	ハードウェアの MAC アドレス。
Phys. Interface	対応するポートの物理的な位置。
Mode	IP アドレスの割り当てに使用される方法 (static または dynamic)

Channels エリア

次の表は、Channels エリアで使用できるフィールドを示しています。

パラメータ	説明
Channel	記録チャンネル (CAM) または再生 (PGM) チャンネルの名前。
Status	<p>チャンネルのステータス:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CAM: Recording、Rec、Idle ● PGM: Ready、Playing、Live、Idle <p>チャンネルにオーディオまたはビデオがない場合、次のいずれかの表示とともに赤色で表示されます:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (!A) : オーディオが欠落している場合 ● (!V) : ビデオが欠落している場合 ● (!AV) : オーディオとビデオが欠落している場合 ● (!IP) : IP 入力ストリームが適切に構成および/または接続されていない場合
Config	<p>記録または再生チャンネルとしてのチャンネルの構成。</p> <p>SLSM レコーダとフェーズ数は、このフィールドで指定されます。</p>
Rem. Capacity	各レコーダチャンネルの残容量。
LTC	チャンネルの LTC タイムコード。
User TC	チャンネルの User タイムコード。
1st Ctrl	<p>選択したチャンネルに定義されたプライマリ コントローラ。</p> <p>可能な値: EVS Remote、EVS XTNano Remote、AVSP、IPDP</p>
2nd Ctrl	チャンネルに定義されたセカンダリ コントローラ (存在する場合)。
Parallel Ctrl	パラレルモードで使用されるコントローラ。
OSD	パラレル モードで OSD 表示文字を管理するコントローラ (メインまたはセカンダリ)

4.3.3. Storage タブ

概要

The screenshot displays the Storage tab interface with the following sections:

- General:** Remaining Capacity: 17:54:40 [96%], Storage type: Sas, Nominal Capacity: 18:37:12, RAID type: (5+1).
- RAID:** A grid for RAID levels 1-16, with R1 selected.
- Disk status:** A grid for disks 1-24, with EXT4, EXT3, EXT2, EXT1, and INT1 listed. INT1 shows status R1, R1, xx, R1, R1, R1.
- Disk temperature:** A grid for disks 1-24, with INT1 showing temperatures 30, 31, 35, 31, 33.

A "Disk Details..." button is located at the bottom left of the interface.

General エリア

次の表は、General エリアで使用できるフィールドを示しています：

パラメータ	説明
Rem. Capacity	これは、ビデオのデュレーション(時間、分、秒)とパーセンテージで表されるストレージの残容量を表示します。
Nominal Capacity	ビデオのデュレーション(時間、分、秒)で表されるストレージの総容量を表示します。
Storage Type	ディスクのタイプを表示します： SAS。
Raid Type	RAID のタイプを表示します： <ul style="list-style-type: none"> ● 4+1: ディスク 4 台とパリティ ディスク 1 台、スペア ディスク 1 台 ● 5+1: ディスク 5 台とパリティ ディスク 1 台、スペア ディスク なし ● 10+1: ディスク 10 台とパリティ ディスク 1 台、スペア ディスク 1 台 ● 10+2: ディスク 10 台とパリティ ディスク 2 台、スペア ディスク なし

Arrays エリア

次の表は、Arrays エリアで使用できるフィールドについて説明しています：

パラメータ	説明
PSU	表示されたアレイの PSU のステータスを表示します。
Fans	表示されたアレイのファンの状態を示します。
Thermal	表示されたアレイの温度ステータスを示します。

Raid エリア

このエリアには、サーバーで定義されている RAID の数とそれぞれの ID (R1、…) が表示されます。

パラメータ	説明
Raid ID	RAID ストレージ システムの ID を表示します。

Disk Overview タブ

Disk Status エリア

このエリアには、各 RAID のローカライズとアレイ内のスペア ディスクに関する情報が表示されます。

xx 記号 (赤) は、特にスペア ディスクなしで作業している場合に、直接交換する必要がある障害のあるディスクを示します。

記号 (赤) は、EVS ディスク以外のディスクを示します。

sp 記号 (緑色) は、スペア ディスクを示します。

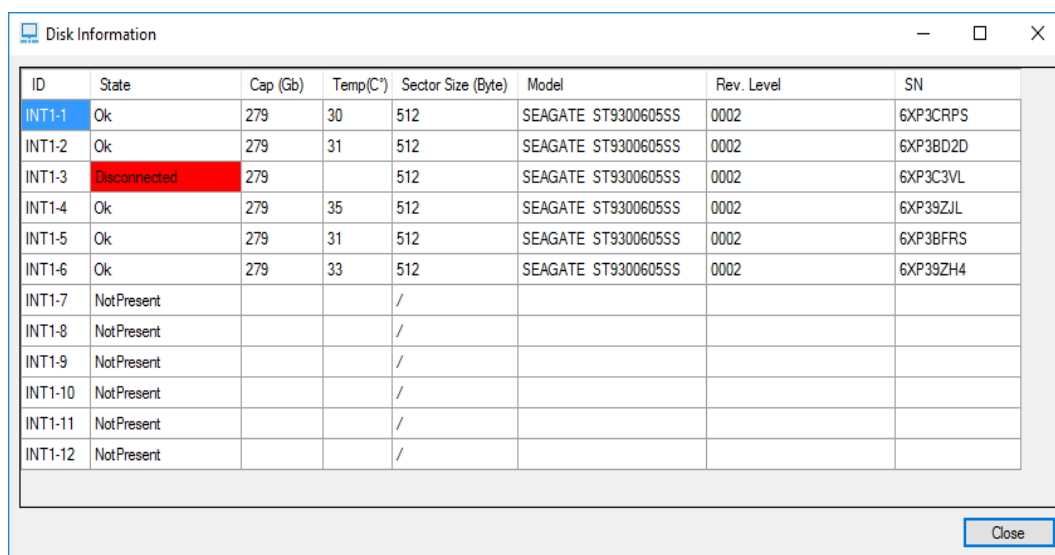
Disk status		0-A	0-B	0-C	0-D	0-E	1-A	1-B	1-C	1-D	1-E	2-A	2-B	2-C	2-D	2-E
INT1	R1	R1	R1	xx	R1											

Disk Temperature エリア

このエリアには、各ディスクの内部温度が表示されます。

Disk Details ボタン

Disk Details ボタンをクリックすると、Disk Information ウィンドウにアクセスできます。



ID	State	Cap (Gib)	Temp(C°)	Sector Size (Byte)	Model	Rev. Level	SN
INT1-1	Ok	279	30	512	SEAGATE ST9300605SS	0002	6XP3CRPS
INT1-2	Ok	279	31	512	SEAGATE ST9300605SS	0002	6XP3BD2D
INT1-3	Disconnected	279		512	SEAGATE ST9300605SS	0002	6XP3C3VL
INT1-4	Ok	279	35	512	SEAGATE ST9300605SS	0002	6XP39ZJL
INT1-5	Ok	279	31	512	SEAGATE ST9300605SS	0002	6XP3BFRS
INT1-6	Ok	279	33	512	SEAGATE ST9300605SS	0002	6XP39ZH4
INT1-7	NotPresent			/			
INT1-8	NotPresent			/			
INT1-9	NotPresent			/			
INT1-10	NotPresent			/			
INT1-11	NotPresent			/			
INT1-12	NotPresent			/			

パラメータ	説明
ID	ディスク識別子
State	ディスクの状態: OK、not present、spare、...
Cap	ディスク容量 (ギガバイト単位)
Temp	一般表示設定で定義された単位でのディスク内部温度
Sector Size	ディスクセクターのサイズ
Model	ディスクのメーカーとモデル
Rev. Level	ディスクのリビジョン レベル
SN	ディスクのシリアル番号

4.3.4. Hardware タブ

概要

Hardware タブには、サーバーにインストールされている使用可能なモジュールとボードが、それぞれのバージョンまたはリビジョン番号、および関連する場合は構成と共に一覧表示されます。

Boards	
Name	Version
MTPC Board	HS-873: Id=0xA6
H3XP-S CPU Board	Id=0xC0, Revision=0x08, Jumpers=0x0F
V4X Base Board #0	ID=0xD0, IDE=0x9f
CH#0 (V4X)	Str:"V4X 1.0 " Feat:0x0000
CH#1 (V4X)	Str:"V4X 1.0 " Feat:0x0000
CH#2 (V4X)	Str:"V4X 1.0 " Feat:0x0000
CH#3 (V4X)	Str:"V4X 1.0 " Feat:0x0000
ACODEC	A3X: Id=0xA3, Ide=0x0A, Ide2=0x8C
Multiviewer Board	MV4: 06.03 31/08/17 - Fpga 0x601 - Product Id 0x60
TGE	TGE 10 GBe: Vs 0.1 Feat. 0x00/0x00/0x00/0x00

General	
Name	Value
Physical Memory	2048 MB
HW Edition	5.11

Board エリア

パラメータ	説明
Name	ボードまたはモジュールの名前
Version	ボードまたはモジュールのリビジョン、および追加パラメータ

General エリア

パラメータ	説明
Physical Memory	MTPCボードのRAM
Hardware Edition	<p>ボード リビジョンの特定のセットに対応する EVS サーバー ハードウェアのバージョン。</p> <p>各ハードウェア エディションのコンポーネントについては、テクニカル リファレンス マニュアルのハードウェア エディション履歴の章で詳しく説明されています。</p>

4.3.5. Codes タブ

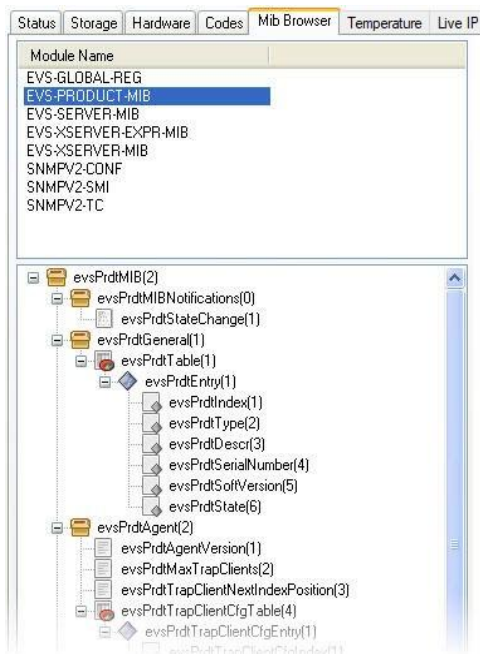
Codes タブには、サーバーでアクティブ化されたライセンス コードとその説明が一覧表示されます。

Status	Storage	Hardware	Codes	Mib Browser	Temperature	Live IP
Number	Description					
2	Authorize SD configurations					
3	Authorize HD configurations					
4	Authorize video configuration changes					
5	Avid DNxHD HD Codec					
6	Apple ProRes 422 HD Codec					
8	DVCPRO HD Codec					
9	DVCPRO 50 Codec					
10	Mjpeg Codec					
11	IMX Codec					
12	Mpeg2Intra Codec					
13	AVC-Intra HD Codec					
15	XAVC-Intra HD Codec					
16	DNxHR 4K Codec					
17	ProRes 4K Codec					
18	AVC-Ultra 4K Codec					
19	XAVC 4K Codec					
20	LSM Hypemotion					
21	1080p Dual-Link					
22	1080p 3G					
23	3D Dual-Link					
24	3D 3G					

4.3.6. MIB Browser タブ

MIB Browser タブでは、MIB (Management Information Base) を表示し、ポーリングできるパラメータの説明を提供します。

このタブは、メンテナンス操作専用です。



4.3.7. Temperature タブ

概要

Temperature タブには、EVS サーバーのいくつかのポイントで測定された温度が一覧表示されます。

測定値は、常に摂氏で与えられます。

温度設定は、これらの測定に影響しません。

- 50° C (122° F) ~ 80° C (176° F): 警告範囲に達し、オレンジ色の背景に温度が表示されます。
- 80° C (176° F) を超えると: アラート範囲に達し、温度が赤色の背景に表示されます。

これらの温度測定値は、Monitoring リストにも表示できます

Temperature	
Name	Value °C
Hxx Board	36
Hxx CPU	53
Hxx Memory	34
VCodec1	45
VCodec2	45
VCodec3	51
VCodec4	57

Temperature エリア

パラメータ	説明
Name	温度が測定されるボードまたはモジュールの名前: <ul style="list-style-type: none"> ● Hxx Board: コントローラ ボード ● Hxx CPU: コントローラ ボード上の CPU モジュール ● Hxx Memory: コントローラ ボード上のメモリ モジュール ● VCodec1: Codec1 モジュール ● など
Value° C	摂氏温度

4.3.8. Live IP タブ

概要

Live IP タブでは、SFP または QSFP インターフェースをモニタリングでき、PTP 関連の情報も表示されます。

XHub-VIA Live IP Aggregator なし

The screenshot shows the 'Live IP' tab in a management interface. It features two main sections: 'SFP Monitoring' and 'PTP Monitoring'.

SFP Monitoring: A table with columns 'Name', 'Tx Mbps', and 'Rx Mbps'. It lists SFP modules SFP-1C through SFP-7D. SFP-4C, 4D, 5C, 5D, 6C, and 6D show non-zero data rates, while others are at 0.

Name	Tx Mbps	Rx Mbps
SFP-1C	0	0
SFP-1D	0	0
SFP-2C	0	0
SFP-2D	0	0
SFP-3C	0	0
SFP-3D	0	0
SFP-4C	9359	9359
SFP-4D	2510	2510
SFP-5C	2512	2512
SFP-5D	2510	2510
SFP-6C	2513	2513
SFP-6D	2510	2510
SFP-7C	0	0
SFP-7D	0	0

PTP Monitoring: A form with fields for Status (Ok), Locked (Yes), Clock Mac Address (0x080011ffe21e542), Frame Rate (59.94Hz), Master Module (1), Profile (Interop AES SMPTE), and Domain (127).

XHub-VIA Live IP Aggregator あり

The screenshot shows the 'Live IP' tab in a management interface. It features two main sections: 'IP Interface Monitoring' and 'PTP Monitoring'.

IP Interface Monitoring: A table with columns 'Name', 'Status', 'Speed', 'Tx Mbps', and 'Rx Mbps'. It lists QSFP modules QSFP 25 through QSFP 30. QSFP 29 and 30 are 'Active' with a speed of 100G and data rates of 10490 Tx Mbps and 18423 Rx Mbps. QSFP 25, 26, 27, and 28 are 'Inactive' with 'Unknown' speeds and 0 data rates.

Name	Status	Speed	Tx Mbps	Rx Mbps
QSFP 25	Inactive	Unknown	0	0
QSFP 26	Inactive	Unknown	0	0
QSFP 27	Inactive	Unknown	0	0
QSFP 28	Inactive	Unknown	0	0
QSFP 29	Active	100G	10490	18423
QSFP 30	Active	100G	10490	18423

PTP Monitoring: A form with fields for Status (Ok), Locked (Yes), Clock Mac Address (0x42e521feff110008), Frame Rate (59.94Hz), Master Module (1), Profile (Interop AES SMPTE), and Domain (127).

IP Interface Monitoring エリア

IP Interface Monitoring エリアでは、各 SFP または QSFP インターフェースのステータス、速度、入出力帯域幅 (Mbps で表される) をモニタリングできます。

PTP Monitoring エリア

PTP Monitoring エリアには、Precision Time Protocol 関連の情報が表示されます。

次の表では、PTP Monitoring エリアで使用できるフィールドについて説明します：

パラメータ	説明
Status	<p>PTP のステータス。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● OK (緑): PTP クロックにロックされています。 PTP ジェネレータで Organization Extension がアクティブになっています。 フレームレートはサポートされています。 ● Bad (赤): PTP クロックにロックされていません。 ● OE issue (オレンジ): PTP クロックにロックされています。 PTP ジェネレータで Organization Extension がアクティブになっていないか、 フレームレートがサポートされていません。 ● System Framerate issue (黄色): PTP クロックにロックされ、PTP ジェネレータで Organization Extension がアクティブになっていて、PTP で構成されたフレームレート が XT フレームレートと一致していません。
Locked	サーバー クロックがマスター クロックに合わせられているかどうかを示すフィールド。
Clock Mac Address	IPネットワーク内のPTPインフラストラクチャのグランドマスター クロックのMACアドレス
Frame Rate	対応フレームレート。
Master Module	<p>SFP+ モジュール (PTP マスター モジュール) のどれが XNet Monitor の単一の PTP クライアントとして動作し、他のビデオ コーデック モジュールを同期するかを示します。</p> <p>PTP マスター モジュールは V4X モジュール 1-C です。</p>
Profile	<p>放送業界に固有で、SMPTE 2110 で使用される PTP プロファイル(一連の必須オプション、禁止オプション、構成可能な属性の範囲とデフォルト)を表示するフィールド。</p> <p>サポートされているプロファイルは次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● IEEE_1588_2008 ● AES67_2015 ● SMPTE_2059 ● INTEROP_DEFAULT_AES_SMPTE ● INTEROP_AES_SMPTE
Domain	<p>PTP ドメインを表示するフィールド</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 共通のグランドマスター クロックを共有する必要があるデバイスを含む ● 表示された PTP プロファイルを使用する必要がある場合。 <p>これにより、複数のタイミング システムが同じネットワークに存在できます。 デバイスは、自身とは異なるドメインのすべてのメッセージを無視してドロップします。</p> <p>0 ~ 127 の値。</p>

4.4. Device Details

序文

Monitored Device List で EVS サーバー以外のハードウェアを選択すると、右側の **Device Details** エリアに詳細な SNMP 情報が表示されます。

この情報は次のタブにまとめられており、これらのタブ自体は別のグループ ボックスにまとめられています：

Tab 名	含まれるフィールドグループ
Status	ハードウェアにインストールされたアプリケーション、コンピュータ上のデータ、ドライブ、通信インターフェース
MIB Browser	MIB (Management Information Base) のビュー

Status タブ

Status タブでは、次の図に示すように、主なパラメータが複数のグループ ボックスに編成されています。

The screenshot displays the 'Status' tab within the 'Mib Browser' window. It is organized into several distinct groups:

- Evs Products:** A table listing installed applications.

Type	Version	State	Custom Name
XFile	2.12.89.0	Halted	Unknown
XTAccess	1.13.9.0	Running	Unknown
- Computer:** A list of system metrics.

Name:	XF73130
CPU Usage:	0% 0%
Physical Memory:	489 / 997 MB (49 %)
Up Time:	21:49:17.04
Date Time:	2010-06-02 19:49:25
- Drives:** A table showing disk drive information.

Name	Total Size	Free Space
Restore (R)	19.5 GB	14.0 GB
XT7 (F)	465.8 GB	28.1 GB
XT7 (E)	465.8 GB	444.4 GB
System (C)	19.5 GB	6.7 GB
- Interfaces:** A table listing network interfaces.

Description	Status	MTU	Speed	Phys. Address	IP Address	Net Mask	NIC IN	NIC OUT
Intel(R) 82566DC...	Down	1500	1000 Mbps	01cc04a8ef7	0.0.0.0	0.0.0.0	126	
Intel(R) PRO/100...	Up	1500	1000 Mbps	01517766bd2	128.1.2.2	255.255.255.0	2,801,699	63,825
Intel(R) PRO/100...	Up	1500	1000 Mbps	015176fe98f	1.1.53.12	255.255.0.0	20,783,986	20,697,299

さまざまなグループ ボックスとそのパラメータについては、後で詳しく説明します。

EVS Products

パラメータ	説明
Type	EVS アプリケーション名。
Version	サーバー ソフトウェアのリビジョン。
State	サーバーの状態: running、in maintenance、faulty、halted、unknown
Custom Name	MIB から製品に付けられた名前。

Computer

パラメータ	説明
Name	コンピュータの名前。
CPU Usage	中央処理装置 (CPU) の使用率。
Physical Memory	総量から使用されるコンピュータ データ ストレージ。
Up Time	最後の起動からの経過時間。
Date Time	MTPC の日付と時刻。

Drives

このエリアには、コンピュータのハードディスク ドライブが一覧表示されます。

パラメータ	説明
Name	コンピュータの名前。
Total Size	ドライブの合計サイズ (GB)。
Free Space	ドライブでまだ使用可能な空き容量 (GB)。

Interfaces

パラメータ	説明
Description	通信インターフェースの一般的な説明。
Status	Up または Down
MTU	最大転送単位: レイヤーが転送できる最大のプロトコル データ ユニットのサイズ (バイト単位)。
Speed	データ転送速度 (メガビット/秒)。
Phys. Address	データバスがメインメモリの特定のストレージセルにアクセスできるようにするために、コンピュータのアドレスバス回路に電子的に(2進数の形式で)提示されるメモリアドレス
IP Address	通信インターフェイスのインターネット プロトコル アドレス。
Net Mask	4 ドット 10 進数表現で表されるプレフィックス ビット マスク。 たとえば、255.255.255.0 は 192.168.1.0/24 プレフィックスのサブネット マスクです。
NIC IN	ネットワークを通過するオクテット数 (入力)
NIC OUT	ネットワークを通過するオクテット数 (出力)

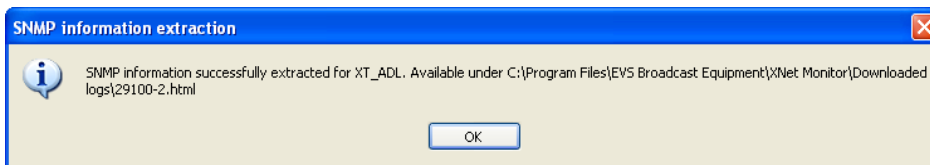
MIB Browser タブ

4.5. SNMP 情報の抽出

EVS サーバーに関連する SNMP 情報を抽出するには、次の手順を実行します：

1. **Monitored Device** ツリーでサーバーを右クリックします。
2. コンテキスト メニューから、**Extract SNMP Information** を選択します。

抽出が開始され、完了すると、SNMP Information Extraction ウィンドウに .html ファイル名とその保存フォルダーとパスが表示されます。

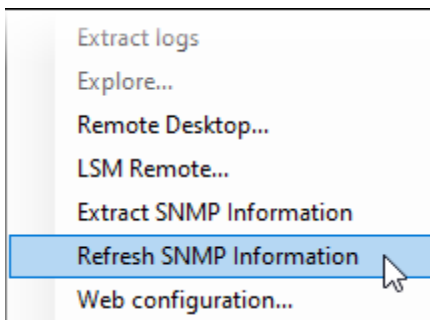


4.6. SNMP 情報の更新

デバイスのSNMP情報の更新

特定のデバイスの SNMP 情報を更新するには、次の手順を実行します：

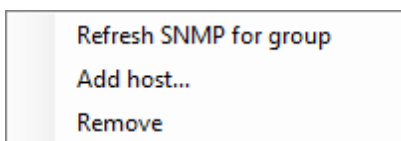
1. **Monitored Device** ツリーで、SNMP 情報を更新したいデバイスを右クリックします。コンテキストメニューが開きます。
2. **Refresh SNMP Information** を選択します。



グループのSNMP情報の更新

デバイスのグループの SNMP 情報を更新するには、次の手順を実行します：

1. **Monitored Device** ツリーで、SNMP 情報を更新したいグループを右クリックします。コンテキストメニューが開きます。
2. **Refresh SNMP for Group** を選択します。



4.7. Alert メッセージ

4.7.1. Alerts 枠の説明

序文

Alerts 枠は、Monitoring ウィンドウの Monitoring List 枠の下に表示されます。

Monitored Device ツリーで選択したモニタリング対象デバイス（ホストまたはホスト グループ）に対して生成された SNMP アラートのリストが表示されます。

アラートメッセージは、確認するまで表示されます。

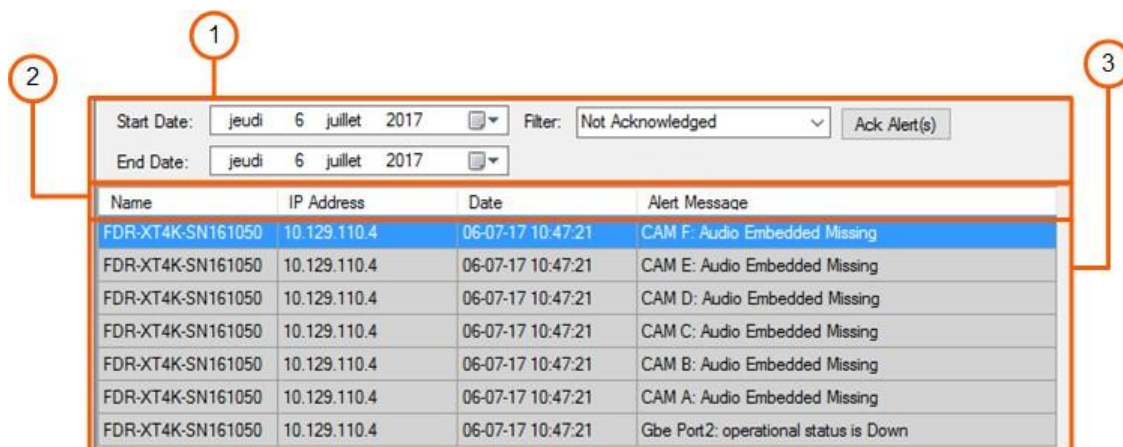
Alerts 枠では、次のことができます：

- アラート カテゴリに基づいてアラートを表示します。
- アラート リストの列を並べ替えます。
- (アクティブな) アラートを確認します。

Filter ドロップダウン メニューを使用して、表示するアラートを選択します。

カテゴリ	説明
All	選択した期間中に発生したすべてのアラートが表示されます。
Acknowledged	すでに確認済みのアラートのみが表示されます。
Not Acknowledged	まだ確認されていないアラートのみが表示されます。

エリア説明



次の表では、Alerts 枠のさまざまな部分について説明します：

パート	名前	説明
1	アラートフィルタ	アラート カテゴリを選択できるドロップダウン フィールド、アラートが発生した日付範囲と同様に、グリッドに表示されます。 右側の Ack Alert(s) アイコンを使用すると、表示されたすべてのアラートを確認できます
2	カラムヘッダ	特定の列で利用可能な情報のタイプ。 列ヘッダをクリックすると、昇順または降順で要素を並べ替えることができます。 表示される列は変更できません： <ul style="list-style-type: none"> ● Name: ホストの名前 ● IP Address: ホストの IP アドレス ● Date: アラートが生成された日時 ● Alert Message: エラー メッセージ
3	アラート情報	表示アラートに関する情報。

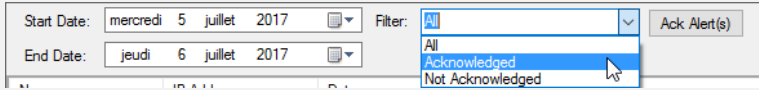
4.7.2. Alerts の管理

序文

このトピックでは、Monitoring ウィンドウの Alerts エリアからアラートを表示および管理する方法について説明します。

可能なアクションを以下の表にまとめます。

Alertsで可能な動作

目的	以下を実行
表示するアラートをフィルタリングする	<p>Filter ドロップダウン フィールドで要求されたアラート カテゴリを選択し、表示するアラートが生成された日付範囲を選択します。</p> 
列の値に基づいてアラート アイテムを並べ替える (昇順または降順)	アラート項目を並べ替える列ヘッダをクリックします。
アラートを確認する	フィルタ フィールドの右側にある Ack Alert(s) をクリックします。表示されたすべてのアラートが Alert リストから削除され、 Acknowledged 確認済みリストに追加されます。

4.7.3. 可能なアラートのリスト

序文

この章では、アラートを生成できるフィールドと、関連するデフォルト メッセージ（通常のステータス）およびアラート/エラー メッセージについて説明します。

警告はオレンジ色で表示され、エラーは赤色で表示されます。

動作原理

フィールドでエラーが発生すると、Monitoring ウィンドウに表示されます：

- 特定のフィールドが Alert Configuration ウィンドウで選択されていない場合、Alerts 枠のアラートとして。

アクティブなアラートのリストからアラートを削除するには、管理者ユーザーがアラートを確認する必要があります。

その後、確認アラートのリストに送信されます。

- Server Details 枠、および場合によっては Monitoring List 枠（関連するフィールドが表示されている場合）にエラー メッセージとして表示されます。

SNMP 情報が返信され、状況が正常に戻るか、アラートが確認されると、それに応じてフィールドのステータスが更新され、エラーは正常なステータスに置き換えられます。

Polling ステータス

ポーリング サービスのステータスを表示します。

ポーリング サービスが最後にサーバーにクエリを送信したときに、ポーリング サービスが正しく実行されているかどうか（現在の時刻からの hh:mm:ss の時間間隔）を示します。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ
OK (00:03:00)	ポーリング サービスは正常に機能しており、SNMP データが最後に送信されたのは 3 分前です。	Info
No response to IMCP polling	ICMP (Internet Control Message Protocol) タイムアウトが生成されました： : 要求された時間間隔で情報が送信されませんでした。	Error
No response to SNMP polling	SNMP タイムアウトが発生しました： 要求された時間内に情報が送信されませんでした。	Error

ステータス

EVS サーバーまたはその他の EVS ハードウェアの機能ステータスを表示します。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ
Running	EVS サーバーは、特定のコンフィグで実行されています。	Info
Not Running	EVS サーバーは、コンフィグを実行していません。	Info
Initializing	EVS サーバーは初期化中です (ブート シーケンス中)。	Error
Maintenance	EVS サーバーは Multicam Setup ウィンドウ内のため、特定のコンフィグをまだ実行していません。	Error
Halted	EVS サーバーの電源がオフになっています。	Error

GbE 1/2 と PC LAN 1/2 ステータス

Gigabit Ethernet インターフェース コネクタ (ポート 1 および 2)、PC LAN コネクタ (ポート 1 および 2) の動作ステータス、および GbE および/または PC LAN チーミングに関連する問題を表示します。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ	GUI
Up	対応する GbE または PC LAN インターフェースがインストールされ、正常に動作しています。	Info	Server Details
Down	対応する GbE または PC LAN インターフェースが機能していません。	Error	Server Details
Not present	対応する GbE または PC LAN がインストールされていません。	Error	Server Details
GbE Port 1: operational status is Down	GbE ポート 1 が機能していません。	Error	Alerts
PC LAN Port 1: operational status is Down	PC LAN ポート 1 が機能していません。	Error	Alerts
Team Up	GbE または PC LAN インターフェースは正常に動作しており、両方のリンクがチーミングで正しく機能しています。	Info	Server Details
Team Link 1 Down	GbE リンク 2 または PC LAN リンク 2 は機能していますが、GbE リンク 1 または PC LAN リンク 1 はケーブル接続されていないか、正しく機能していません。	Error	Server Details
Team Link 2 Down	GbE リンク 1 または PC LAN リンク 1 は機能していますが、GbE リンク 2 または PC LAN リンク 2 はケーブル接続されていないか、正しく機能していません。	Error	Server Details
Team Down	GbE または PC LAN インターフェースがインストールされていますが、両方のリンクで適切に動作しません。	Error	Server Details
GbE Port 1/ PC LAN Port 1: operational status is degraded – team link 1 down	GbE リンク 2 または PC LAN リンク 2 は機能していますが、GbE リンク 1 または PC LAN リンク 1 はケーブル接続されていないか、正しく機能していません。	Error	Alerts
GbE Port 1/ PC LAN Port 1: operational status is degraded – team link 2 down	GbE リンク 1 または PC LAN リンク 1 は機能していますが、GbE リンク 2 または PC LAN リンク 2 はケーブル接続されていないか、正しく機能していません。	Error	Alerts

Controller

EVS サーバーで有効になっている特定のコントローラの接続ステータスを表示します。

メッセージが表示される枠によって、表示方法が若干異なります。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ	GUI
OK	定義されたすべてのコントローラが接続されています、つまり、稼働中です。	Info	Mon. List
Connected	対応するコントローラが稼働中です。	Info	Server Details
Defined	対応するコントローラは構成で定義されていますが、使用されていません。	Info	Server Details
Disconnected	対応する定義済みコントローラが切断されているか、外部通信が失われています。	Error	Server Details
XX on RS422 #Y disconnected	特定のコントローラ(XX)は、EVS サーバーの特定の RS422 ポート番号(Y)で切断されています。	Error	Alerts Pane

Channels

記録または再生チャンネルのステータスに関するエラーを示します。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ	GUI
Recording	記録されたメディアの正常な状態。	Info	Server Details
Recording (!A)		Error	Server Details
CAM X: audio embedded missing	記録されたメディアに Emb 音声がありません。	Error	Alerts
Recording (!V)		Error	Server Details
CAM X: video missing	記録されたメディアにビデオがありません。	Error	Alerts

Genlock

ゲンロック同期信号の有無と種類を表示します。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ
OK Blackburst	有効なブラックバースト信号が存在します。	Info
OK Tri-level	有効な 3 値信号が存在します。	Info
Bad Blackburst	ブラックバースト信号不良	Error
Unknown Blackburst	ブラックバースト信号が検出されない	Error
Bad Tri-level	3 値信号不良	Error
Unknown Tri-level	3 値信号が検出されない	Error

Analog LTC

LTC (Longitudinal Time Code) アナログ信号のステータスを表示します。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ
OK	有効な LTC 信号が EVS サーバーに存在します。	Info
Missing	EVS サーバーで LTC 信号が検出されません。	Error
Corrupted	EVS サーバーで不正な LTC または LTC ドリフトが検出されました。	Error

Local Clips

サーバーに保存されるクリップの数を表示します。

ローカル クリップの場合、アラートの生成は、Tools > Settings メニューで定義された Monitoring 設定の Local Clips フィールドに定義されたしきい値に依存します。

デフォルトのしきい値は、4000 です。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ
3500	クリップの数が黒で表示されている場合、EVS サーバー上のクリップの数が、ローカル クリップの最大数に対して定義されているしきい値を超えていないことを意味します。	Info
4200	クリップの数が赤と太字で表示されている場合、EVS サーバー上のクリップの数が、ローカル クリップの最大数に対して定義されているしきい値を超えていることを意味します。	Error

DB Status

サーバーデータベースのステータスを表示します。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ
OK	DBは、OKです。	Info
Corrupted	DB が壊れています。	Error

XNet Status

XNet ネットワーク接続のステータスを表示します。

可能な値

メッセージ	説明	ステータスタイプ
Connected	EVS サーバーがネットワークに接続されています。	Info
Connecting	EVS サーバーのネットワークへの接続が進行中です。	Info
Stand alone	システムに XNet ライセンスまたは必要なハードウェアがないか、XNet ネットワークが無効になっています。	Info
Not Connected	EVS サーバーがネットワークに接続されていません。	Error
Disconnected	EVS サーバーは切断フェーズにあります。	Error
Connection fault	非互換性エラーのため、EVS サーバーは XNet ネットワークに接続できません。	Error

Traffic

ネットワークトラフィックのステータスを表示します。

可能な値

メッセージ	説明	ステータスタイプ
Normal	XNet ネットワーク上のトラフィックは適切に管理されています。	Info
Heavy	XNet ネットワークは、使用可能な容量を最大限に活用します。	Warning (orange)
Corrupted	XNet ネットワークが過負荷になり、コントローラから少なくとも 1 つのコマンドが失われ、非同期化されています。	Error

Rem. Capacity

EVS サーバーの残りの記録容量を、時間とパーセンテージで表示します。

アラートの生成は、**Tools > Settings** メニューで定義された Monitoring 設定の Remaining Capacity フィールドに定義されたしきい値によって異なります。

デフォルトのしきい値は、5% です。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ
48:01:53 (97%)	残り容量のしきい値を超えていない場合、パラメータは有効な状態（黒字）です。	Info
01:03:32 (2%)	残り容量のしきい値を超えると、パラメータは警告状態（オレンジ色のフォント）になります。	Warning
00:00:00 (0%)	残り容量が null の場合、パラメータはエラー状態（赤字）です。	Error

PSU

電源ユニットの状態を示します。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ
OK (1)	サーバーには PSU が 1 つしかインストールされておらず、正常に動作しています。	Info
OK (2)	2 つの PSU がインストールされ、正常に動作しています。	Info
! PSU 1	最初の PSU がダウンしています。	Error
! PSU 2	2 番目の PSU がダウンしています。	Error

PSU HDX

外部 SAS ディスクアレイの電源ユニットの状態を示します。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ
OK (1)	SAS-HDX ディスク アレイに PSU が 1 つだけインストールされており、正常に動作しています。	Info
OK (2)	2 つの PSU が SAS-HDX ディスク アレイにインストールされ、正常に動作しています。	Info
/	外部ストレージ システムがインストールされていません。	Info
! PSU1	SAS-HDX ディスク アレイの最初の PSU がダウンしています。	Error
! PSU2	SAS-HDX ディスク アレイの 2 番目の PSU がダウンしています。	Error

Fan HDX

外部 SAS ディスク アレイのファンの状態を表示します。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ
OK	ファンは動作しています。	Info
/	外部ディスク アレイはインストールされていません。	Info
! Fan 1	ファン 1 が故障しています。	Error
! Fan 1,2	ファン 1 と 2 が故障しています。	

Disk Thermal

内部ディスクと外部ディスクの温度を表示します。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ
OK	ディスクで測定されたすべての温度は OK です。	Info
INT 1: Rising	内部ディスク アレイのディスク 1 の温度が上昇しています (50 ~ 55° C)。	Warning
EXT 2-3 : Rising	2 番目の外部ディスク アレイ 2 のディスク 3 の温度が上昇しています (50~55°C)。	Warning
INT 1-2 : Overheating	最初の内部ディスク ストレージ ボード 1 のディスク 2 の温度が 55° C を超えています。	Error

RAID

レイドのステータスを表示します。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ
OK	レイドシステムは正常に動作しています。	Info
R1: Rebuilt X%	システムは RAID マトリックスの RAID 1 を再構築し、X は、% で処理された再構築操作の一部を表します。 Server Details 枠、Storage タブで、RAID エリアの RAID の背景がオレンジ色になっています。	Warning
R1: Degraded	RAID マトリックスの RAID 1 はディスクを失い、完全なストレージを失うことなく新たなディスク障害を許容することはできません。 Server Details 枠、Storage タブで、RAID 領域の RAID の背景が赤くなります。	Error

Raid R/W Retry

これは、RAID のディスクに対する読み取りおよび/または書き込み操作の再試行の回数を表示します。

少なくとも 1 つの読み取りまたは書き込み操作が再試行されるとすぐに、警告が生成されます。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ
Or / Ow	更新された読み取り試行 0 回、更新された書き込み試行 0 回	Info
Or / 1w	更新された読み取り試行 0 回、更新された書き込み試行 1 回	Warning

Raid R/W Error

RAID のディスクでの読み取りおよび/または書き込み操作のエラー数を表示します。

少なくとも 1 つの読み取りまたは書き込み操作が失敗すると、すぐにエラーが生成されます。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ
Or / Ow	0 読み取りエラー、0 書き込みエラー	Info
Or / 1w	0 読み取りエラー、1 書き込みエラー	Error

Disk

ディスクの接続状態とスペアディスクの数を表示します。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ	GUI
OK (1 sp)	すべてのディスクが接続され、RAID マトリックスによって受け入れられ、1 つのスペア ディスクが使用可能です。	Info	Mon. List
1 xx (6 sp)	すべてのディスクが接続され、RAID マトリックスによって受け入れられますが、1 つのディスクに障害があり、6 つのスペア ディスクが使用可能です。	Error	Mon. List
OK	指定されたディスクは正常に動作しています。	Info	Server Details
Spare	指定されたディスクはスペア ディスクです。	Info	Server Details
INT/EXT X-X Disconnected	内部または外部アレイ (アレイ番号 + ディスク番号) 上の指定されたディスクは、RAID マトリックスから外れています。	Error	Alerts & Server Details
INT/EXT X-X Not Present	内部または外部アレイ (アレイ番号 + ディスク番号) にディスクが接続されていません。	Error	Alerts & Server Details

PC Free Disk Space

MTPC ディスクの使用可能な領域をメガバイト (MB) またはギガバイト (GB) で表示します。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ
300 MB	使用可能なスペースが SNMP エージェントで定義された値 (100 MB) を超えている場合、ラベルは正常な状態です。	Info
75 MB	使用可能なスペースが SNMP エージェントで定義された値 (100 MB) 未満の場合、ラベルは警告状態になります。 PC (MTPC カードなし) の場合、この値は警告として表示されません。	Warning
10 MB	使用可能なスペースが 20MB 未満の場合、ラベルはエラー状態になります。 PC (MTPC カードなし) の場合、この値は警告として表示されません。	Error

Rec Train Expiration

レコード トレインのフィールド カウンタを再初期化するまでの残り時間を表示します。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ	GUI
Record Train Maintenance should be performed in less than 12 weeks.	レコード トレイン フィールド カウンタを再初期化するまで、4 ~ 12 週間あります。	Warning	Alert
Record Train Maintenance should be performed in less than 28 days.	レコード トレイン フィールド カウンタを再初期化するまで、のに 4 週間あります。	Error	Alerts

Temperature

ハードウェア コンポーネントの温度を表示します。

可能な値

メッセージ	説明	ステータス タイプ	GUI
The system has encountered a temperature issue. Please consider restarting Multicam at your earliest convenience	温度が警告しきい値 (80 度) を超えています。	Error	Alerts
The system has encountered a serious temperature issue. Please shut down the server as soon as possible	温度が最大しきい値 (95 度) を超えています。	Error	Alerts

Other

可能な値

メッセージ	説明	ステータスタイプ	GUI
Your server ran into a problem that it couldn't handle. To keep the server operating optimally, a reboot is recommended.	Multicam の実行中に、Linux カーネルで 0 による除算が発生しました。	Error	Alerts
The system has encountered a System Backup issue. A backup of your content is recommended before restarting Multicam.	システム バックアップの問題が発生しました。	Error	Alerts
The system has encountered a RAID access issue. Please restart Multicam as soon as possible. Stopping the recorders is recommended	R4X ボードに問題がありました。	Error	Alerts

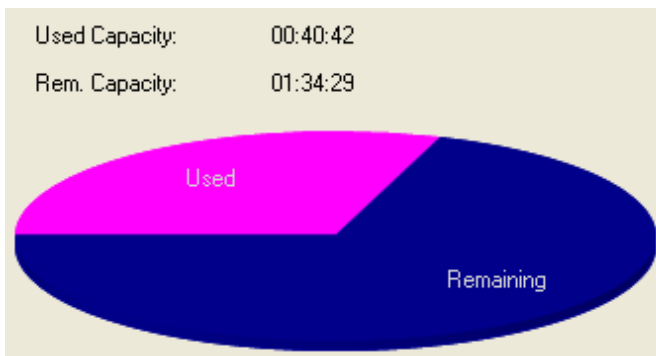
4.8. Disk Usage

Disk Usage 枠には、使用済みディスク容量と残りのディスク容量の概要が表示されます。

この合計は、Monitored Device ツリーで選択されたサーバーまたはサーバー グループで使用可能なすべてのディスクについて計算されます。

カラー パイ チャートは、システムのディスク使用状況をすぐに視覚化するのに役立ちます。

より正確な数値は、時間、分、秒で使用されたビデオ時間と残りのビデオ時間として表され、その円グラフに表示されます。



5. Server Maintenance タスク

5.1. Multicam Upgrades

5.1.1. Installing a Multicam Version

Multicam Version を EVS ビデオ サーバーにインストールする方法

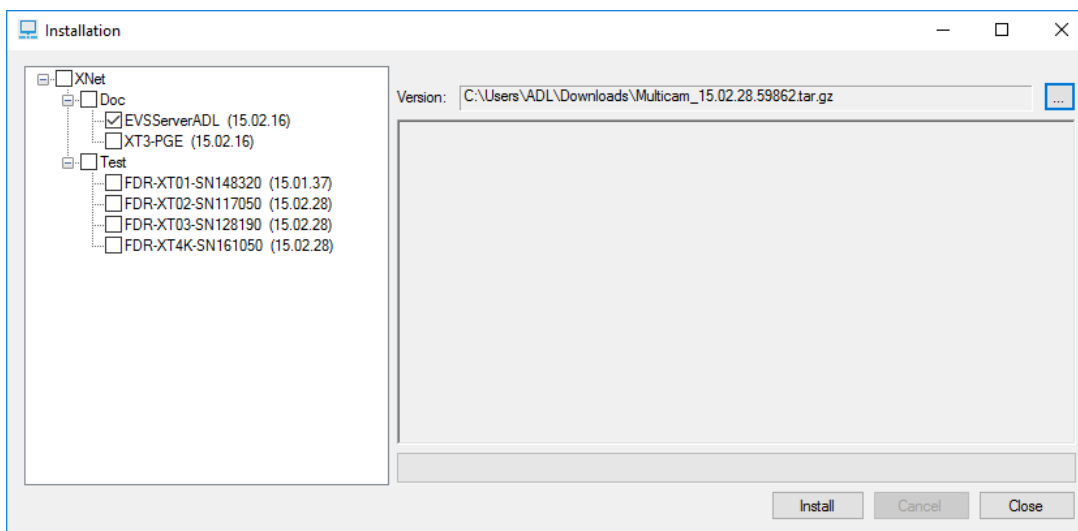


Multicam バージョン 15.XX 以降では、Multicam インストール ファイル (.gz ファイル) が直接利用可能になり、Multicam バージョンを更新するために XNet Monitor でそのまま使用できます。

1 つまたは複数のサーバーで Multicam をリモートで更新するには、次の手順を実行します：

1. **Tools** メニューで、**Server > Install Versions**を選択します。

Installation ウィンドウが表示されます：



2. Installation ウィンドウの左側の枠で、更新するサーバーを選択します。

現在インストールされている Multicam のバージョンは、各サーバーの横に表示されます。

3. **Version** フィールドで、コンピュータを参照して、新しい Multicam インストール zip ファイルを選択します。

4. **Install** ボタンをクリックして、選択したすべてのサーバーでインストール プロセスを開始します。

5. サーバーのアップグレードを開始する前に、インストーラーは各サーバーにインストールされている Multicam バージョンの数を確認します。

EVS サーバーに 10 を超えるバージョンがインストールされている場合、新しいバージョンをインストールする前に古いバージョンを削除するよう求めるエラー メッセージが表示されます。それ以外の場合は、アップグレード プロセスが自動的に開始されます。

上記のメッセージが表示された場合は、次の手順を実行します。

- a. **OK** をクリックします。
Remove Installed Versions ウィンドウが表示されます。
- b. 要求されたバージョンを削除します。

その後、アップグレード プロセスが開始されます。

サーバーがアップグレードされると再起動されますが、要求されたアプリケーションを起動する必要があります。

5.1.2. Removing a Multicam Version

XT サーバーは、Multicam のバージョンを最大 10 個保存できます。

この最大数に達し、追加のバージョンをインストールしようとする、最初にサーバー上の 1 つ以上の他の Multicam バージョンを削除するように求められます。

XNet Monitor には、ネットワーク内の各 XT サーバーに対して不要になったバージョンを選択し、サーバーから削除できる機能が付属しています。

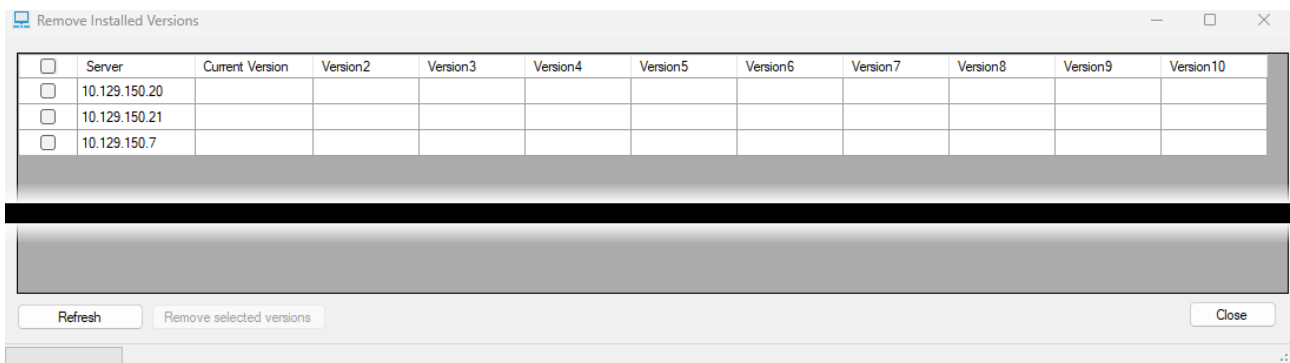
EVS サーバーから Multicam Version を削除する方法

以前にインストールされた Multicam バージョンを EVS サーバーから削除するには、次の手順を実行します：

1. **Tools** メニューで、**Server > Remove Installed Versions** を選択します。

Remove Installed Versions ウィンドウが表示されます。

ネットワーク内のサーバーの IP アドレスがリスト表示されます。



2. 以下のいずれかを行います：

Multicam バージョンを削除したい場合は：

○リスト内の特定のサーバーには、対応するチェックボックスをオンにします。

○リスト内の全てのサーバーを選択するには、まず全てのサーバーを選択する必要があります。

これを行うには、左上隅にあるチェックボックスをオンにします。

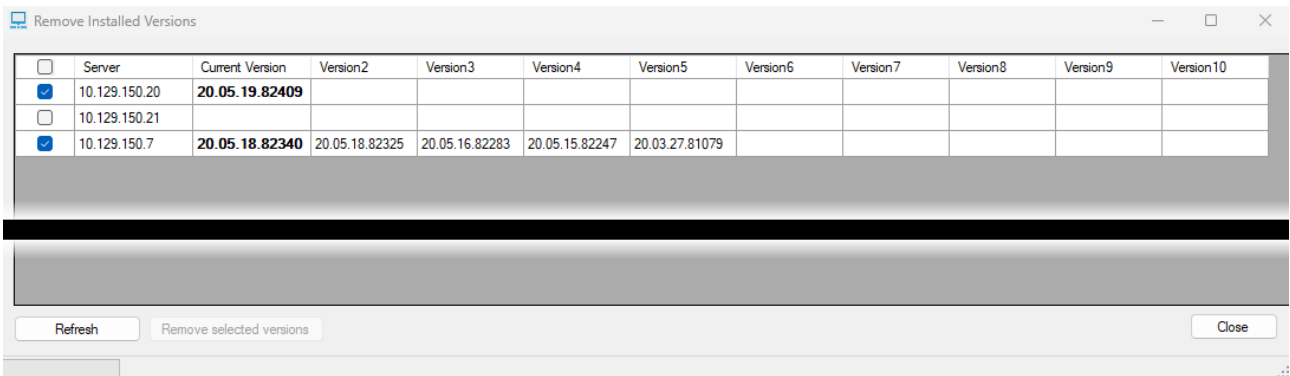
全てのサーバーのチェックボックスも自動的にチェックされます。

3. **Refresh** ボタンをクリックします。

インストールされている Multicam のバージョンが取得され、選択したサーバーに対して表示されます。

サーバーの長いリストがあり、それらを全て選択した場合、このプロセスには時間がかかる可能性があることに注意してください。

現在アクティブな Multicam バージョンは太字で強調表示されます。



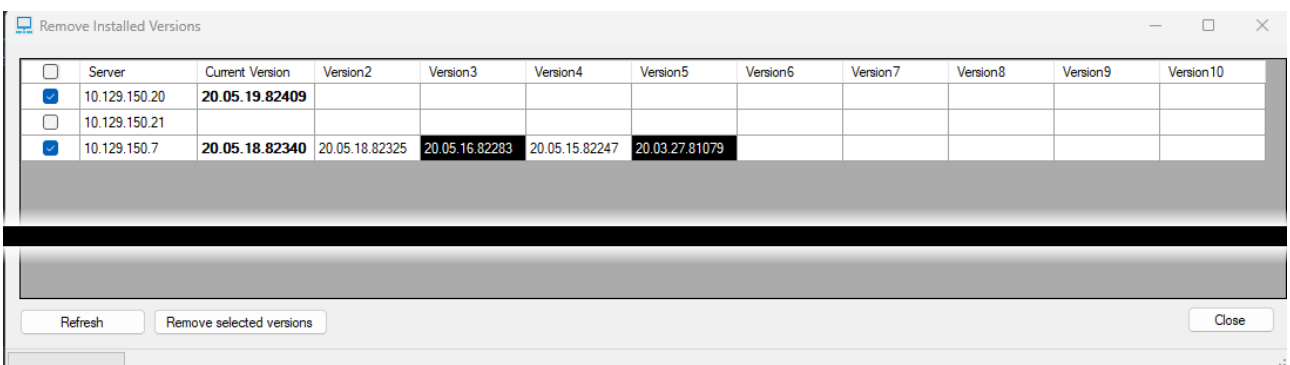
4.以下のいずれかを行います:

削除するには: 。

○サーバーから特定のバージョンを削除するには、対応する **Version** セルをクリックします。

○サーバーの全てのバージョン (アクティブなバージョンを除く) を削除するには、サーバーの IP アドレスが含まれるセルをクリックします。

選択した Multicam バージョンは黒で強調表示されます。



5.**Remove Selected Versions** ボタンをクリックします。

選択した Multicam のバージョンは 1 つずつ削除されます。

Multicam バージョンを削除できなかった場合、対応するセルの背景が赤で強調表示されます。

20.05.17.82313	20.05.16.82283	20.05.15.82247
----------------	----------------	----------------

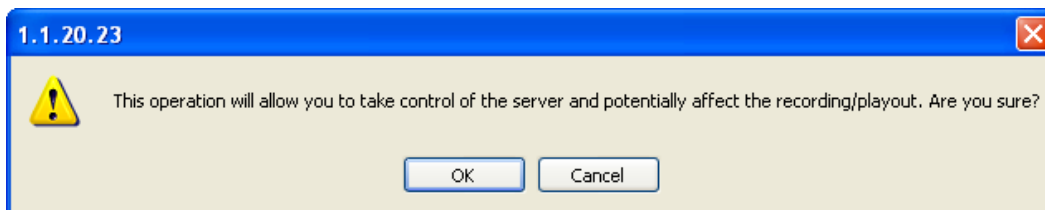
6.**Close** をクリックします。

5.2. EVS サーバーへのリモートアクセス

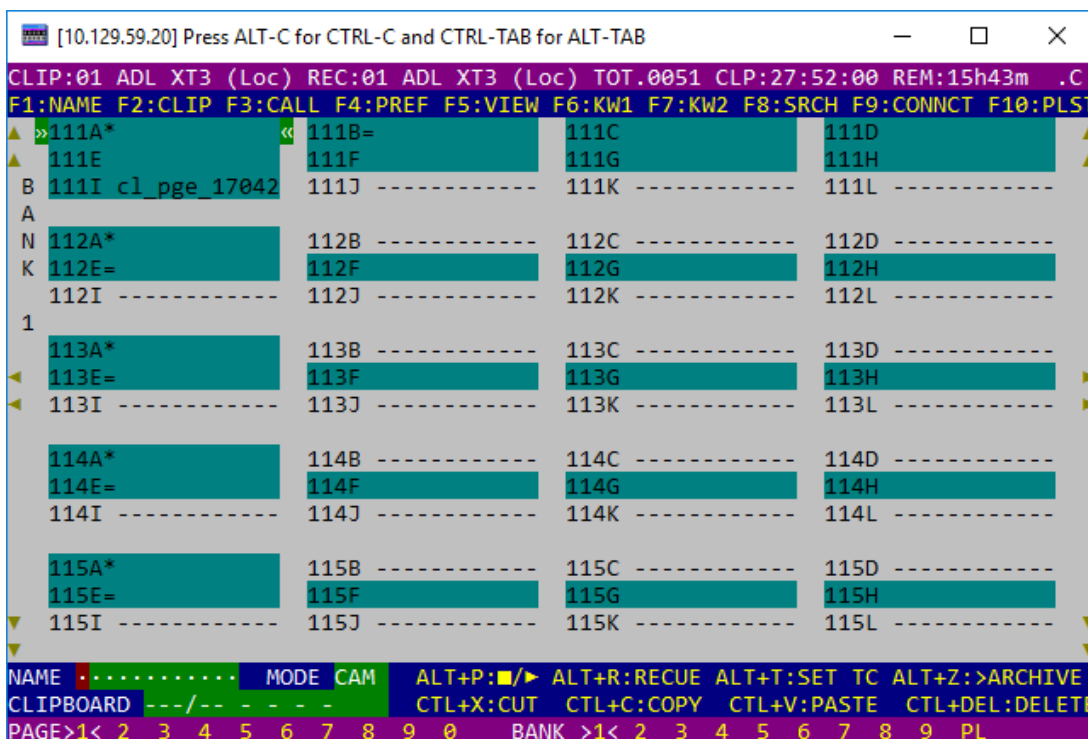
5.2.1. サーバーデスクトップへのリモートアクセス

サーバー デスクトップにリモート アクセスするには、次の手順を実行します：

- 1.サーバー名を右クリックし、コンテキスト メニューから **Remote Desktop** を選択します。
EVS サーバーを制御しようとしていることを警告するメッセージが表示されます。



- 2.OK をクリックして、サーバー ウィンドウを開きます。



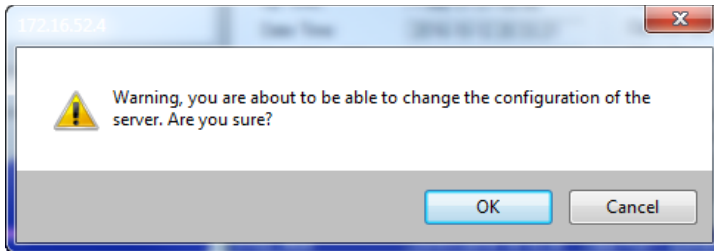
このウィンドウから、キーボードを使用してアクセスする場合とまったく同じように、Multicam Configuration モジュールをナビゲートできます。

5.2.2. Multicam Web Setup へのアクセス

サーバー デスクトップにリモート アクセスするには、次の手順を実行します：

1.サーバー名を右クリックし、コンテキスト メニューから **Web configuration** を選択します。

EVS サーバーを制御しようとしていることを警告するメッセージが表示されます。



2.OK をクリックして、サーバースクリーンを開きます。

Multicam Web Setup ウィンドウが開きます。

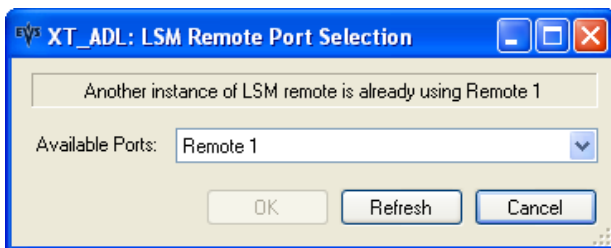
詳細については、EVS Server Configuration マニュアルを参照してください。

5.2.3. LSM リモコンへのリモート アクセス

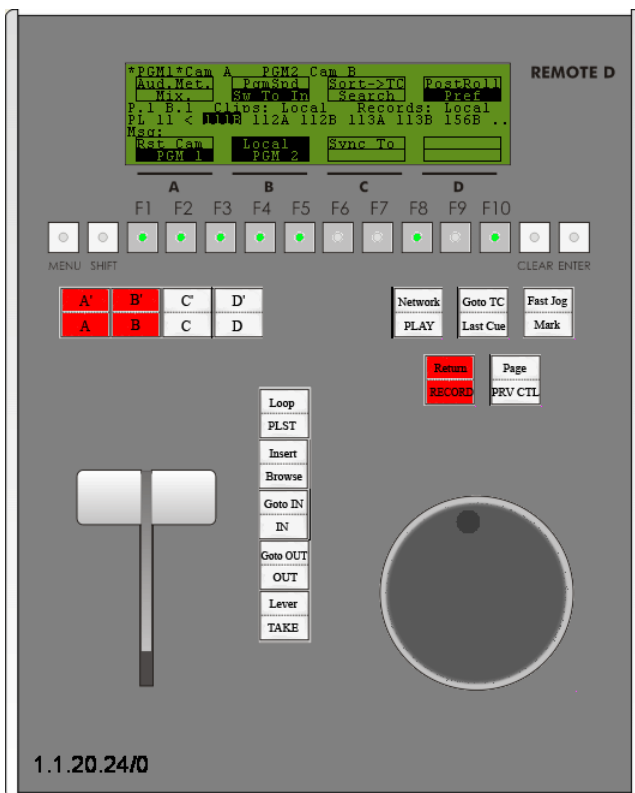


この関数は、トレーニング目的でのみ使用する必要があります。
操作に使用するためのものではありません。

1. サーバーに接続された LSM リモコンに接続して制御するには、次の手順に従います：
2. サーバー名を右クリックし、コンテキスト メニューから **LSM Remote** を選択します。
3. 次のウィンドウで、物理リモート デバイスにリンクされているポート番号を選択します：



4. OK をクリックすると、LSM リモート パネルを表す対話型ウィンドウが開き、そこから、物理リモート自体などのさまざまなコマンドを使用できます。



Esc キーを押すと、このウィンドウを閉じることができます。

5.2.4. EVS サーバーのリブート

サーバーをリモートで再起動するには、Monitored Device ツリーでサーバーを右クリックし、コンテキストメニューで **Reboot** を選択します。

Server Reboot message ウィンドウが表示されます。

リモート ホストで再起動プロセスを開始するには、再起動プロセスを確認する必要があります。



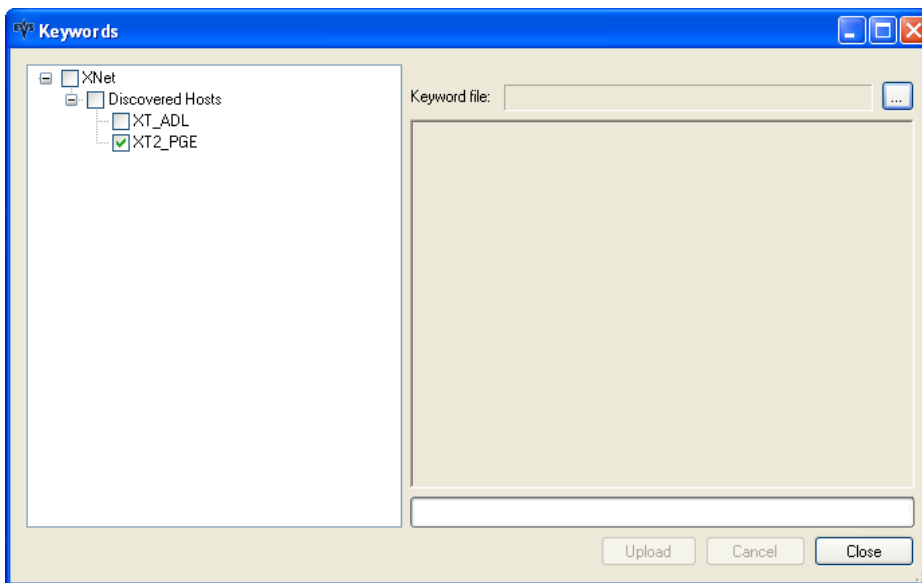
このコマンドは、対応するパラメータが Settings ウィンドウで有効になっている場合にのみ使用できます。

5.3. EVS サーバーへのキーワードファイルのアップロード

1 つまたは複数のサーバーにキーワード ファイルをアップロードするには、次の手順に従います：

1.Tools メニューで、**Server > Keyword Files** を選択します。

Keywords ウィンドウが表示されます。



2.Keywords ウィンドウの左側の枠で、キーワード ファイルを受信するサーバーを選択します。

3.Keyword File フィールドで、コンピュータを参照して、アップロードするキーワード ファイルを選択します。

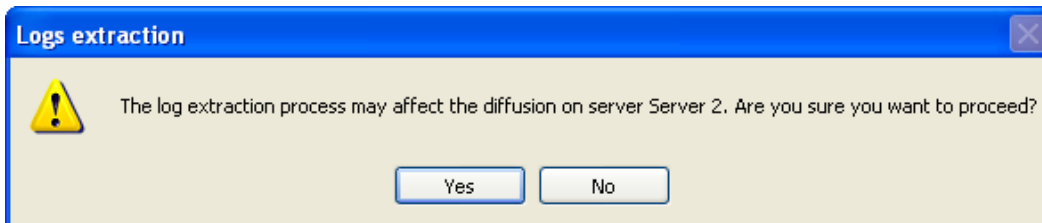
4.Upload ボタンをクリックして、選択したすべてのサーバーでキーワード ファイルのコピーを開始します。

5.4. サーバー Logs Extraction

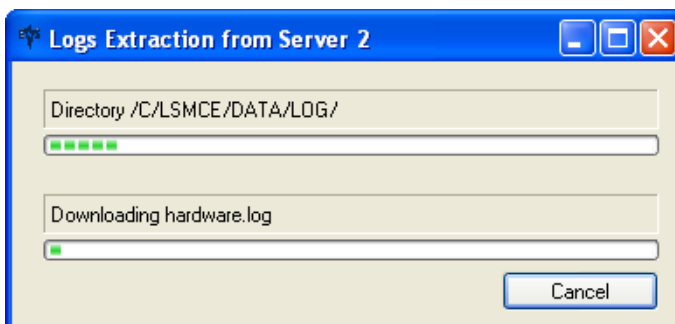
サーバーに保存されている SNMP ログをリモートで回復するには、Monitored Device ツリーでそのサーバーを右クリックし、コンテキストメニューで Extract logs を選択します。

次の警告メッセージ ウィンドウが表示され、抽出プロセスがそのサーバーからのビデオ再生を妨げる可能性があることを警告します。

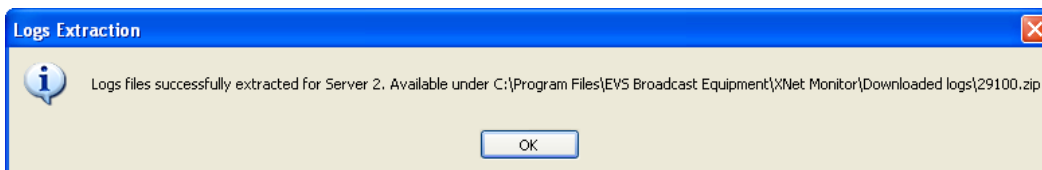
この時点で再生の問題を受け入れることができない場合は、後で抽出プロセスを再度開始してください。



次のウィンドウには、抽出の進行状況バーと、ダウンロード中の現在のディレクトリとファイルが表示されます。



ログの抽出が完了すると、ログ ファイルの圧縮に関するウィンドウが短時間表示され、Logs Extraction ウィンドウに zip ファイル名とその保存フォルダーとパスが表示されます。



ログに記録されたさまざまな情報（コンフィグ、アラートなど）は、さまざまなフォルダーとファイルに保存され、zip ファイルにまとめられます。

zip ファイルの隣には、各サーバーのテキスト ファイル (LogExtracion_servername.log) があり、抽出の日付、操作、結果、および結果の zip ファイルが記録されます。



ログの抽出時に、リモート サーバー上のログ ファイルが閉じられ、転送されます。この操作の後、リモート サーバー上に新しいログ ファイルが作成され、今後発生するイベントが記録されます。

XNet Monitor
USER MANUAL
Version 1.6.11 | July 2023

発行年月 2023年 9月 発行

株式会社フォトロン
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105
神保町三井ビルディング21階

OC2022.PHOTRON LIMITED、All rights reserved. Printed in Japan.



EVS Broadcast Equipment is continuously adapting and improving its products in accordance with the ever changing requirements of the Broadcast Industry. The data contained herein is therefore subject to change without prior notice. Companies and product names are trademarks or registered trademarks of their respective companies.

